

上里町の教育

平成24年度



上里町指定文化財(1962年2月22日指定)・無形民族文化財:東音頭
かみさとふれあい祭りにて撮影(東音頭保存会)

上里町教育委員会

目 次

上里町民憲章	2
教育尊重の町宣言	3
町章・町の木・町の花	4
上里町の概要（沿革・町勢概況）	5
上里町教育関連施設及び生涯学習関連施設	8
教育委員会組織図	9
平成24年度教育予算（当初）	10
平成24年度教育行政重点施策	11
指導の重点	16
学校紹介	
神保原小学校	20
賀美小学校	21
長幡小学校	22
七本木小学校	23
上里東小学校	24
上里中学校	25
上里北中学校	26
小学校児童・生徒数の推移	27
小中学校学級編制一覧表	28
小中学校教職員配置状況一覧表	29
学校建設事業	30
学校施設・設備等一覧表	31
平成24年度上里町生涯学習の方針・施策	34
平成24年度上里町社会教育事業	
生涯学習推進事業	37
スポーツ振興	40
人権教育指導方針	41
公民館	43
図書館	47
郷土資料館	49
文化財保護事業	50
上里町指定文化財一覧表	51
生涯学習関連施設	54
特別職等の名簿	56
上里町々歌	60
生涯学習とシンボルマーク	61



上里町民憲章

わたくしたちは、この町を愛し、この町の町民であることに誇りをもち、緑と太陽のある住みよい上里町をつくるためこの憲章を定めます。

1. きまりを守り明るい

町をつくります。

1. 健康で心豊かな

町をつくります。

1. 自然を愛し美しい

町をつくります。

1. 幸せにみちた活力ある

町をつくります。

1. 文化を高め魅力ある

町をつくります。

(昭和59年10月1日制定)

教育尊重の町宣言

最近における社会の進歩と変化は極めて急激なものがあり、その中で教育が町民福祉の基本であることにかんがみ、人間尊重の精神を基調として明るいう上里町建設のため教育を推進する。

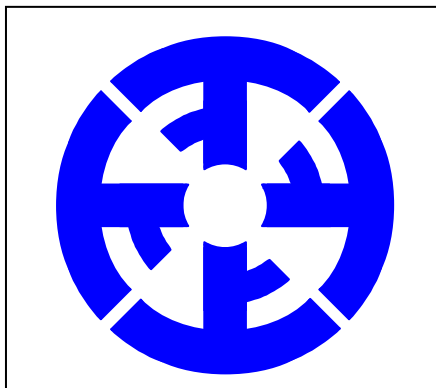
このため、

- 1 教育環境整備（校舎改築）等の優先実施
- 2 学校教育・社会教育の内容の充実深化を図る。
- 3 町民の体育・スポーツを振興して、健康の増進と住民連帯意識の高揚を図る。
- 4 同和問題の根本的解決を図るため、特に社会同和教育の推進につとめる。

これが実現にあたっては本町教育対策の将来展望に立ち広く町民の理解と協力を得て積極的に取り組むことを誓い、ここに教育尊重の町を宣言する。

昭和52年7月27日 制定

町章



昭和46年11月3日制定

この地方が古く武蔵国の上にあたることから上里と名付けられた由来と、4ヶ村から生まれた上里の「上」で円を描き、「人と和と円満」を示しています。

さらに、外周に形どられた円は限りない「町の発展と躍進」を象徴したものです。

昭和52年8月26日制定

庭木として植栽された春に、紅・白などの花をつける日本の代表的な花木です。ツバキに「椿」の字を当てるのは、これが、春のよろこびを伝える代表的な木だからと言われています。

また、八重椿は、ツバキ科に分類され、常緑の高木になります。

町の木 — 八重椿



町の花 — サルビア



昭和52年8月26日制定

夏から秋まで咲き続け、花壇に最もよく使われる代表的な花です。シソ科に分類される一年草でブラジルの原産です。花の色は、朱紅、紫、白などの品種があります。

花は数日で落ちてしまいますが、同色のガクはいつまでも残って美しいものです。

平成23年11月3日誕生

町制施行40周年を記念して、637点の応募の中から、町特産の種子小麦をモチーフにしたデザインのマスコットキャラクター「こむぎっち」が誕生。特徴は、豊かに実った小麦の穂のヘア。この小麦の粒の中には、夢と幸せがつまっています。

上里町マスコットキャラクター こむぎっち



上里町の概要

1 上里町の沿革

本町に残された人々の暮らしの痕跡は、古新田の畑で発見された今から約 1 万 4 千年前の槍先型の石器に始まります。その後約 1 万年続く縄文時代の各時期の土器が出土していますが、住居の跡は、まだ見つかっていません。狩猟や採取のために本町を訪れ、定住には至らず、豊かな自然の中で野宿をしていたのでしょう。

古代の人々が住居を作り、水田や畑を耕すようになったのは、古墳時代前期の 4 世紀中頃からです。その後、古墳時代後期になると神流川沿いに数多くの集落や大御堂、下郷、帯刀、本郷、東堤、神保原町の地域の古墳群が築かれるようになります。

奈良時代に入ると、以前の古墳時代にも増して多くの集落が営まれます。本町地域が文字による記録で初めて登場するのは、奈良東大寺の正倉院に伝えられている天平勝宝五年（753 年）銘の布（屏風袋縫）によってです。さらに続日本紀の宝亀三年（772 年）の記事にも見ることができ、延喜式（927 年）の記述には今城青八坂稻實神社や長幡部神社など 4 社の名を見ることができるなど、本町は古代から武蔵国賀美郡の地として大いに栄えていたことがうかがえます。

平安時代には、現在の町の中心地である中堀遊水地の場所に池を備えた寝殿風の豪華な建物や瓦葺きの建物、倉庫、井戸等を備えた郡役所のような施設があったことが発掘調査により多くの貴重な出土品とともにわかっています。

古代末期には武蔵武士の一員となる丹党発祥の地として、古代から中世への歴史の変換点に大きく関与しています。その姿は、平家物語・源平盛衰記・吾妻鏡・太平記などで勅使河原氏や長浜氏の活躍の様子として残されています。

江戸時代には旗本領となり、五街道のひとつとして中山道が整備され、石神村・金久保村・勅使川原村を通り、本町は、本庄宿と新町宿の間の宿として整備されていました。石神村には、茶屋、酒屋、髪結い、一膳飯屋、菓子、とうふ、紙、わらじ等を商う家が軒を連ねており、にぎわいを見せていました。また同時に、烏川や利根川を利用した大量の物資運搬の担い手として八町河岸や藤ノ木河岸が整備されました。

明治時代に入り、近代国家を目指す国家政策の中で本町も大きくその姿を変えてきました。明治 16 年には高崎線が新町駅まで開通し、明治 30 年には神保原駅が開設されました。明治 22 年には、賀美村、長幡村、七本木村、神保原村の 4 村が誕生し、現在の上里町の原型が誕生しました。昭和 29 年この 4 村が合併して上里村となり、さらに昭和 46 年町制施行により上里町が誕生しました。その後、中央保育園、老人福祉センター、上里東小学校、保健センター、上里北中学校、町民体育館、浄水場、ワープ上里、女性センター（男女共同参画推進センターに改称）等の建設、また昭和 52 年「教育尊重の町宣言」制定、昭和 59 年「上里町民憲章」制定、平成 4 年「上里町

史」発刊等々の事業が盛んに行われ、平成9年には人口が3万人を突破しました。

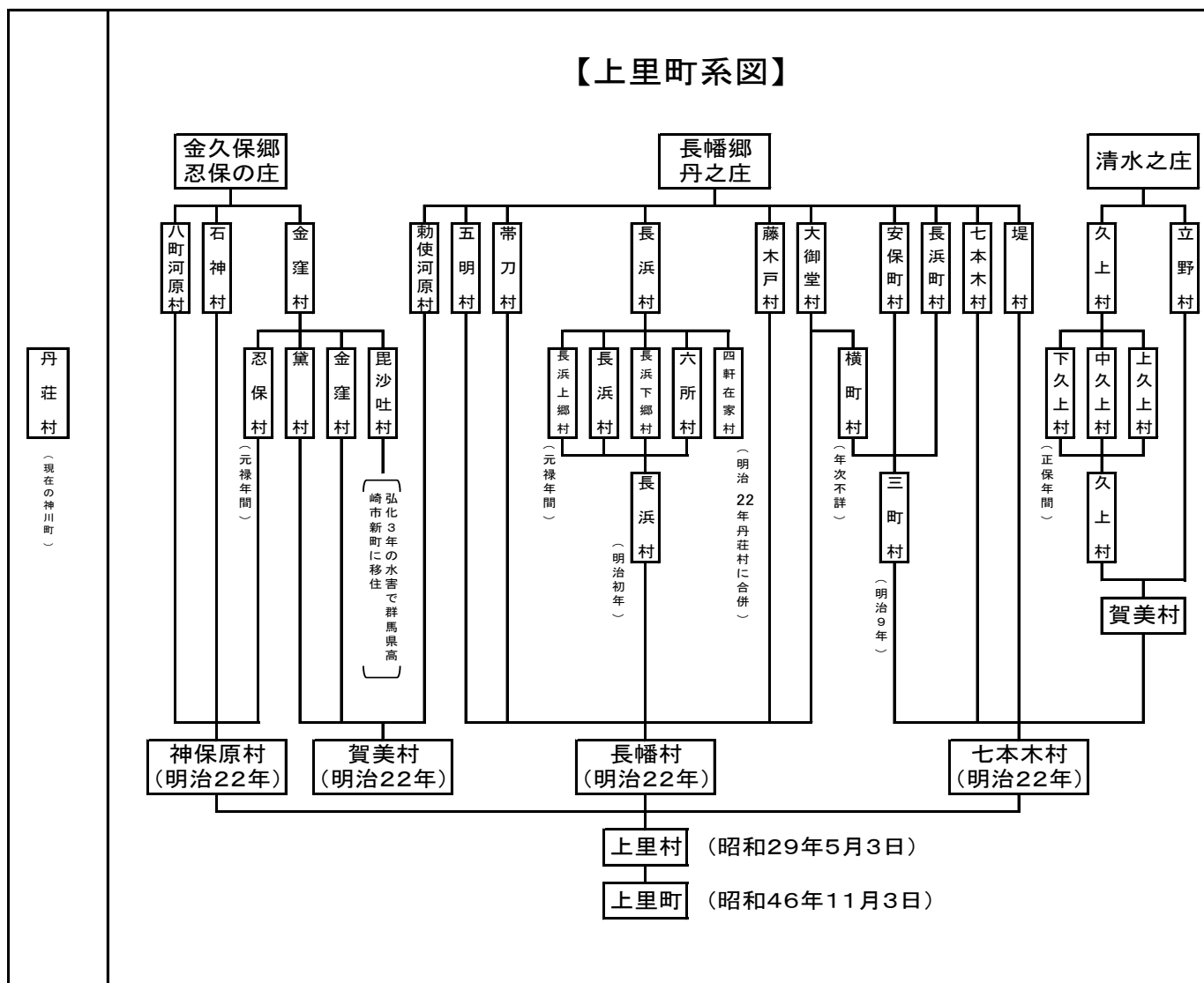
また、町制施行から30年という記念すべき節目の平成13年には、町のシンボルとなる新庁舎が完成しました。昨年は、町制施行40周年を迎え、上里町マスコットキャラクター「こむぎっち」が誕生しました。

この間、常に快適さと利便性、そして自然を大切にしてきました。

このように歴史を積み重ねながら、新たな試みにも挑戦する上里町は、次の4つの基本目標を掲げ、すべての町民が生きがいと幸せを享受できるよう「豊かで活力ある生活文化都市」の実現に向け取り組んでいます。

上里町 基本目標

1. 健康で幸せな暮らしのあるまちづくり（福祉健康の増進）
2. 快適でうるおいのあるまちづくり（都市基盤の整備）
3. にぎわいと活力にあふれたまちづくり（産業経済の振興）
4. 心豊かな人の住むまちづくり（教育文化の向上）



2 町勢概況

[位置・人口] 平成24年3月31日現在

北緯 36度14分

東経 139度08分

海拔 最高 85m

最低 52m

面積 29.21km²

人口 31,745人（うち外国人1,085人）

男 15,818人（うち外国人 519人）

女 15,927人（うち外国人 566人）

世帯数 11,918世帯（うち外国人世帯 466世帯）

[地理]

本町は、埼玉県の最北端にあるが、都心からは約85km圏に位置し、北西部は烏川・神流川を境に群馬県玉村町、高崎市（新町）、藤岡市に接し、南東部は本庄市、神川町と接している。

東西約6km、南北5.5kmとほぼまとまった地形をなしている。

[産業]

本町は、かつては肥沃な大地を活かし、あるいは用水を開削して新田を開発するなどして農産物の供給地として栄えてきたが、昭和56年の児玉工業団地の開設以来、農業に替わり工業が主力産業となっている。

また、近年は、周辺都市への住宅供給地としての地域機能がますます高まり、特に町東部地域における住宅建設が盛んで、そのため大型商業施設が開業するなどして商業も発展しつつある。

これに伴って本町は災害のない穏やかな風土と豊かな自然に恵まれた産業・住宅地域としてのイメージが強くなってきている。

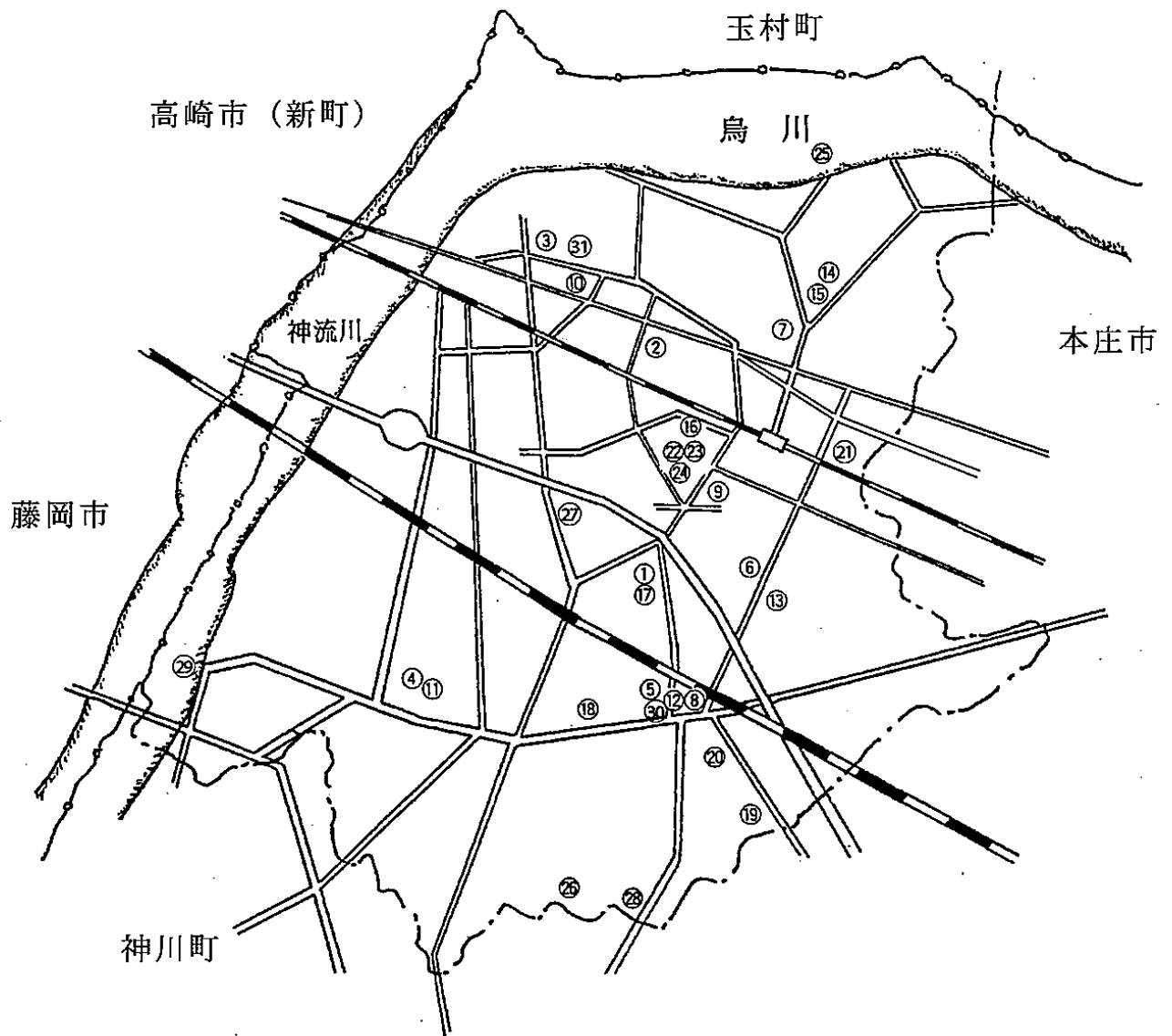
[交通]

鉄道…東日本旅客鉄道（株） 高崎線「神保原駅」

町の中央を東西に上越新幹線が通過しており、平成16年には本庄市に本庄早稲田駅が開業し、本町の利用者が年々増加している。

道路…町の中央を東西に関越自動車道、北部を国道17号線、南西部を国道254号線が通過し、埼玉県の北の玄関口として交通の要衝となっている。

上里町教育関連施設及び生涯学習関連施設

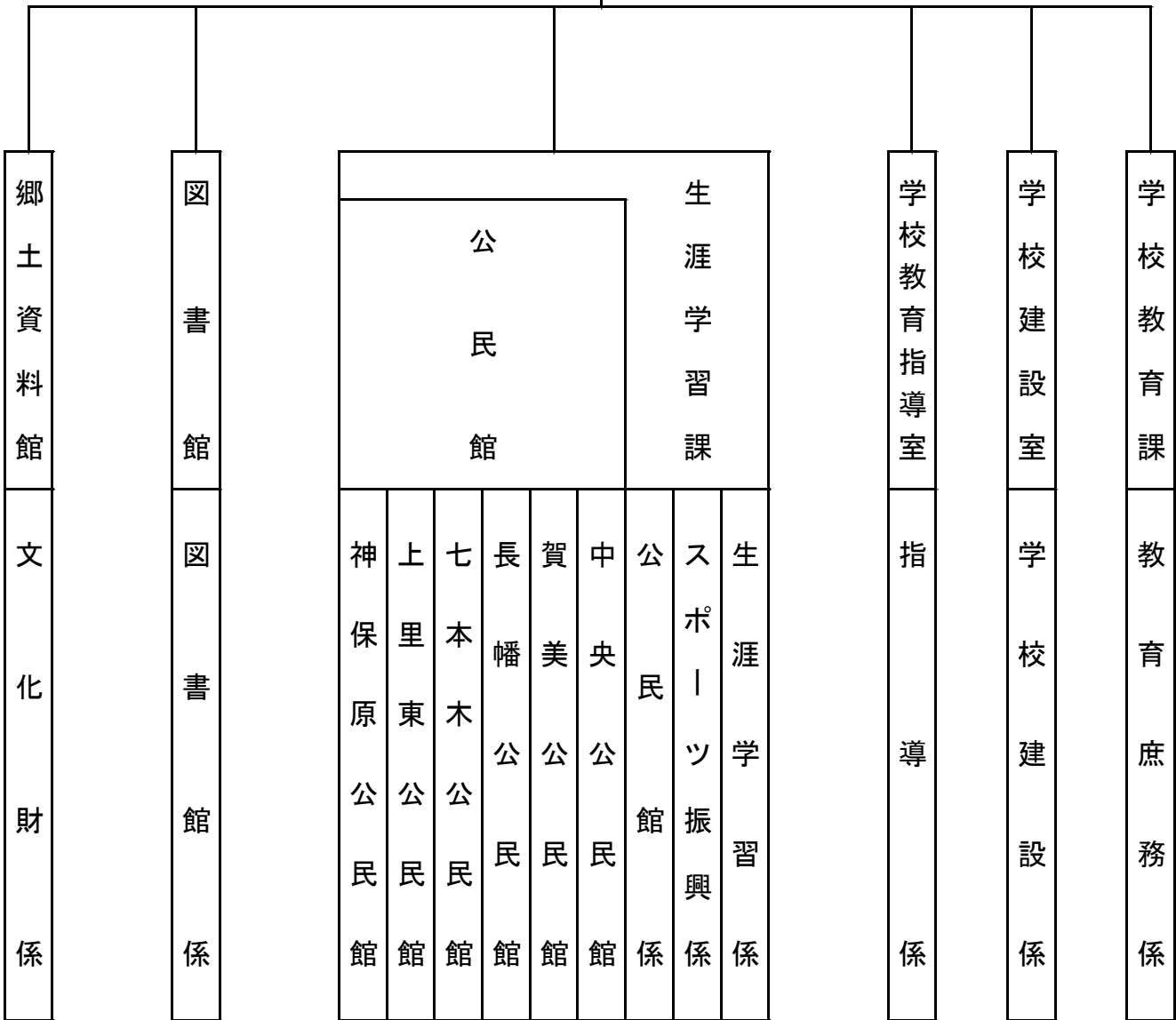


1	上里中学校	33-2974	13	上里東公民館	34-1041	24	勤労者総合文化センター (ワープ上里)	34-0488
2	上里北中学校	33-7749		上里町東児童館	35-3451		忍保パブリック 公園野球場	—
3	賀美小学校	33-0026	14	神保原公民館	34-1727	25	公園野球場	—
4	長幡小学校	33-0907		神保原児童館	33-3621			
5	七本木小学校	33-0544	15	隣保館	33-3741	26	長久保公園庭球場	—
6	上里東小学校	33-1621	16	堀込集会所	33-7916	27	堤調節池運動 公園グラウンド	—
7	神保原小学校	33-3074	17	堤集会所	33-7917			
8	町民体育館 多目的スポーツホール	33-7655	18	三町集会所	33-8615	28	工業団地遊水地 グラウンド	—
			19	立野集会所	33-7938			
9	中央公民館	33-8628	20	本郷集会所	33-7922	29	宮多目的広場サッカー場	—
10	賀美公民館	34-1724	21	五丁目集会所	33-9280	30	男女共同参画推進センター (ウイズ・ユー上里) 七本木児童館 七本木児童公園	35-1357
11	長幡公民館	34-1725	22	出土文化財管理 センター	33-2682			35-1356
	長幡児童館	35-3541						—
12	七本木公民館	34-1726	23	図書館	34-0455	31	賀美児童館	34-1100
				郷土資料館				

教育委員会組織図

教育委員会

教育長



平成24年度教育予算(当初)

[単位：千円]

一般会計

歳出合計 7, 422, 000

一般会計歳出合計に対する割合

9款 教育費 736, 747 (9. 9%)

教育費に対する割合

9款1項 教育総務費 204, 255 (27. 7%)

9款2項 小学校費 79, 894 (10. 8%)

9款3項 中学校費 63, 866 (8. 7%)

9款4項 社会教育費 186, 458 (25. 3%)

9款5項 保健体育費 202, 274 (27. 5%)

項	目	予算額 (千円)	教育費に対する割合
教育総務費	教育委員会	1, 266	0. 2%
	事務局費	202, 989	27. 6%
小学校費	学校管理費	50, 771	6. 9%
	教育振興費	29, 123	4. 0%
中学校費	学校管理費	33, 484	4. 5%
	教育振興費	30, 382	4. 1%
社会教育費	社会教育総務費	37, 176	5. 0%
	公民館費	55, 542	7. 5%
	図書館費	58, 542	8. 0%
	郷土資料館費	24, 896	3. 4%
	人権教育費	10, 302	1. 4%
保健体育費	保健体育総務費	24, 315	3. 3%
	給食センター管理費	165, 559	22. 5%
	体育施設費	12, 400	1. 7%

平成24年度教育行政重点施策

－生きる力を育て 絆を深める上里教育－

人々の価値観はますます多様化し、「ものの豊かさ」から「ゆとり」や「心の豊かさ」を求める声が高まっています。変化の激しい時代にあって、上里町が将来ともに生きがいに満ちた活力ある郷土として発展するために、教育の果たす役割はますます大きくなってきております。

上里町教育委員会は、教育尊重の町宣言（昭和52年7月27日制定）に則り、教育が町民福祉の基本であることを認識し、人間尊重の精神を基調として、次の基本目標を基に上里町教育行政重点施策を策定いたします。

《基本目標》

- 1 確かな学力と自立する力の育成
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 質の高い学校教育の推進
- 4 家庭・地域の教育力の向上
- 5 生涯学習とスポーツの振興

<基本目標1 確かな学力と自立する力の育成>

「教育に関する3つの達成目標」を推進し、子どもたちに基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させます。また、新教育課程実施に向けた取組を推進し、確かな学力や創造力をはぐくみます。

さらに、発達障害などに対する支援体制の整備・充実や特別支援学校の教室不足への対応などにより特別支援教育を推進します。

《重点施策》

①「教育に関する3つの達成目標」の推進

- 学校・家庭・地域が連携した「教育に関する3つの達成目標」の推進

②確かな学力の育成

- 新教育課程への移行を踏まえた学力の質的向上
- 少人数指導などによるきめ細かな指導の充実

③伝統と文化を尊重し国際性をはぐくむ教育の推進

- 発達段階を踏まえた我が国や郷土の伝統と文化を尊重する教育の推進
- 小学校段階における外国語活動など英語教育の充実

④時代の進展に対応する教育の推進

- 情報教育・環境教育の推進

⑤キャリア教育・職業教育の推進

- キャリア教育に関する指導資料に基づいた教育の普及・推進

⑥特別支援教育の推進

- ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進

<基本目標2 豊かな心と健やかな体の育成>

子どもたちに豊かな心をはぐくむため、道徳教育の一層の推進を図ります。また、「埼玉の子ども70万人体験活動」などにより人間同士の絆を深め、豊かな人間性や社会性を育てます。

いじめや不登校の未然防止や早期発見・早期対応を目指した教育相談活動を推進するとともに、生徒指導を充実します。

「人権感覚育成プログラム」などを通して、人権を尊重した教育を推進します。さらに、食育などにより子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、外部指導者などの支援による体力向上に努めます。

《重点施策》

- ①「埼玉の子ども70万人体験活動」の推進
 - 豊かな人間性や社会性を育てる「埼玉の子ども70万人体験活動」の推進
- ②豊かな心をはぐくむ教育の推進
 - 道徳教育の推進
- ③いじめ・不登校の防止
 - 教育相談活動の推進によるいじめ・不登校の防止
- ④生徒指導の充実
 - 地域や関係機関との連携などによる非行・問題行動の防止
- ⑤人権を尊重した教育の推進
 - 「人権感覚育成プログラム」の普及などによる人権教育の推進
- ⑥健康の保持・増進
 - 食育や生活リズムの改善による子どもたちの健康の保持・増進
- ⑦体力の向上と学校体育活動の推進
 - 外部指導者などの支援による児童生徒の体力の向上

<基本目標3 質の高い学校教育の推進>

教職員の資質向上や学校の組織運営の改善、学習環境の整備・充実などにより、質の高い学校教育を推進します。

また、子どもたちの安全・安心確保のための取組を推進します。

《重点施策》

- ①教職員の資質向上
 - 教師の授業力向上に関する取組の推進
 - 教師が主体的に取り組む校内研修の推進
 - 外部指導者の積極的な招聘
- ②学校の組織運営の改善
 - 主幹教諭配置による学校組織体制の整備
 - 学校評価制度の推進による学校管理運営の改善・充実
- ③子どもたちの安心・安全の確保
 - 家庭・地域と連携した防犯、安全教育の推進
- ④学習環境の整備・充実
 - 学校緑化の推進と学習環境の整備・充実

<基本目標4 家庭・地域の教育力の向上>

学校・家庭・地域の絆を一層深め、小・中学校における「学校応援団」を充実し、放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりを推進します。

また、「親の学習」の推進などにより、家庭教育の支援を充実します。

《重点施策》

①「学校応援団」活動の推進

○地域や家庭が学校を支える「学校応援団」活動の充実

②学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

○放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進

③家庭教育支援体制の充実

○「親の学習」の推進

<基本目標5 生涯学習とスポーツの推進>

社会の要請と町民の学習ニーズに応える質の高い学習機会を提供し、活力ある生涯学習社会の実現に努めます。

また、上里の魅力ある文化芸術の振興と伝統文化の継承に努めます。さらに、町民があらゆる機会を通してスポーツやレクリエーション活動に参加できるよう、地域スポーツの振興を図ります。

《重点施策》

①生涯を通じた多様な学習活動の推進

○生涯学習推進体制の整備

○生涯学習に関する機会の充実

○図書館・青少年教育施設における活動の充実

②文化芸術の創造と伝統文化の継承

○文化財の保存・活動の推進

○文化活動の促進

○郷土資料館等における活動の充実

○施設の充実

③地域スポーツの振興

○生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

○競技スポーツ活動の振興

○児童生徒の体力向上とスポーツ活動の推進

○スポーツ・レクリエーション活動の場の確保

学校教育



神保原小学校



賀美小学校



長幡小学校



七本木小学校



上里東小学校



上里中学校



上里北中学校



森林体験
(賀美小)



上中の誇り「ひざつき清掃」
(上里中)



協同学習(学び合い)
(上里中)



読書集会
(神保原小)



長なわとび大会
(上里東小)



音楽朝会
(神保原小)



あいさつ運動
(上里北中)



全校読書読み聞かせ
(七本木小)



学力向上授業研究会
(上里東小)



梨の栽培体験
(長幡小)



清掃活動
(上里北中)



児童朝会
(長幡小)



昔の遊び
(七本木小)



サケの赤ちゃん大きくなって・・・
(賀美小)

指導の重点

1 学校経営

創意工夫を生かし、特色ある教育活動の充実を目指す

- ① 校長を中心に全教職員の創意を生かし、学校の教育目標の実現に努める。
- ② 生きる力を育むことを目指し、地域や各学校の実態に即した教育課程の編成・実施・評価を行い、その改善に努める。
- ③ 校務分掌組織を活性化し、学校、学年、学級の一貫した経営に努める。
- ④ 研修を充実し、教員として資質を磨きあい、創意・工夫を生かした教育活動の展開を図るとともに、よい校風の樹立に努める。
- ⑤ 説明責任を果たし、「学校応援団」など家庭や地域社会との連携を深めるとともに、一層開かれた学校づくりに努める。

2 学習指導

生きる力を育む授業の創造を目指す

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、これらの活用を図る学習活動や言語活動を充実させ、児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育むように努める。
- ② 学習習慣確立のため、家庭と連携して宿題や復習などを適切に課すなど家庭学習も視野に入れた指導を行う。
- ③ 児童生徒一人ひとりの学習状況を的確に把握し、個に応じた指導の柔軟かつ多様な実現に努める。
- ④ 児童生徒が自らのよさに気づき、伸ばしていくことができるよう、観点別学習状況の評価基準を明確にし、指導と評価の一体化を図るとともに、学習指導の改善・充実に努める。

3 生徒指導

心豊かな児童生徒の育成を目指す

- ① 管理職のリーダーシップの下、全教職員の共通理解に基づいた校内指導体制を確立し、積極的な生徒指導を推進する。
- ② 児童生徒のもつそれぞれの特徴や傾向をよく理解し、深い信頼関係に基づく指導・援助に努めるとともに、児童生徒の好ましい人間関係づくりを進める。
- ③ 児童生徒の発達の段階と特性を十分考慮し、積極的に自己を生かしていくことができるよう教育活動全体を通じて指導・援助する。
- ④ 小中連携をはじめ、地域の協力関係を一層密にするとともに、家庭・地域社会や警察等関係諸機関との緊密な連携を図り、社会総がかりで健全育成活動を推進する。

4 進路指導・キャリア教育

自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、進路指導・キャリア教育の充実を図る

- ① 全教職員による協力的な指導体制を整備し、児童生徒の実態に応じた指導計画の作成とその実施に努める。
- ② 児童生徒一人ひとりが希望と自信をもって積極的、意欲的に学校生活に取り組めるよう、児童生徒理解を基盤にした指導・援助を計画的、組織的、継続的に行う。
- ③ 中学校における進路選択の指導に当たっては、生徒自らの意志と責任で進路を選択決定できるよう、キャリア教育の意義を踏まえた指導・援助に努める。
- ④ 小学校においては、キャリア教育を推進するための学校内の組織、体制づくりを行い、体験活動等も活用し、発達の段階に応じたキャリア教育の推進に努める。

5 道徳教育

人間としての生き方を身に付け、実践できる児童生徒の育成を目指す

- ① 各教科等の特質に応じて指導の充実を図り、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
- ② 道徳教育の全体計画は、校長の方針の下、道徳教育を主に担当する推進教師や推進委員会を中心に、全教職員の参加と協力により作成する。
- ③ 小・中学校の道徳の時間では、道徳的価値に基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
- ④ 指導に当たっては、教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の人間関係を深め、家庭や地域社会と連携を図りながら、道徳的実践の充実を努める。

6 総合的な学習の時間

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする

- ① 全教職員の共通理解の下で、地域や学校、児童生徒の実態や特性を生かした学校としての全体計画を作成・改善する。
- ② 児童生徒が自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、問題を解決する活動や特色ある活動が展開できるよう、組織的、計画的な取組を推進する。
- ③ 地域の教育機関や学習環境の積極的な活用、学校図書館やコンピュータ等の情報機器などの学習環境の整備の構築に努める。
- ④ 問題の解決や探究活動の過程に体験活動を適切に位置付け、児童生徒が人や事物と直接かかわる中で、様々なことを考え、深め、学べるようにする。

7 特別活動

集団や社会の一員としてのよりよい生活づくりや人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図る

- ① 家庭、地域との連携や社会教育施設等の活用、体験的な活動の内容を工夫するなど全教師の協力の下で学校の特色を生かした全体計画と年間指導計画の作成に努める。
- ② 教師の適切な指導の下、児童生徒の自主的、実践的な活動が展開できるようにする。
- ③ 児童生徒が主体的に活動できる機会や場を設定し、集団への所属感や連帯感を深める中で、望ましい人間関係を形成するようにする。
- ④ 児童生徒一人ひとりのよさや可能性を伸ばすよう、実践活動及び実践に至るまでの過程を評価し、次の指導に生かすようにする。

8 学校教育相談

児童生徒が抱える悩みや不安などを解消するための支援を通じて、よりよい人格の形成を図る

- ① 教育相談に関する校務分掌を工夫するなど、学校教育相談体制の充実を図る。
- ② 児童生徒理解に基づいた教育活動を積極的に推進する。
- ③ 児童生徒との日常の触れ合いを通じて、心情をより深く理解し、相互の信頼を深める中で、面談相談を効果的に実施する。
- ④ 相談内容や支援方法に応じて、専門的な指導・援助が得られるようスクールカウンセラーや相談機関との日常的な連携に努める。

9 体育

健やかな体と豊かな心をもった児童生徒を育成する

- ① 児童生徒一人ひとりに運動の楽しさや喜びを味わわせることのできる授業を実践する。
- ② 学校の教育活動全体を通じて計画的、継続的に指導するとともに運動しやすい環境の整備・充実に努める。
- ③ 安全教育と安全管理に学校全体で取り組み、児童生徒の健康・安全に関する態度を育てる。

10 健康教育

生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践できる児童 生徒を育成する

[学校保健]

- ① 健康の大切さを認識し、健康課題をよりよく解決するために、自ら考え、判断し、行動できる資質や能力を育てる。
- ② 家庭・地域社会・関係機関等との連携を図った保健教育の充実と保健管理の徹底に努める。

[学校安全]

- ① 自他の生命を尊重し、自ら安全な生活を営むとともに、他の人々の安全にも配慮し行動できる資質や能力を育てる。
- ② 家庭・地域社会・関係機関等との連携を図った安全教育の充実と安全管理の徹底に努める。

[学校における食育]

- ① 給食の時間を通して自らの健康管理ができる資質や能力と、豊かな人間性をはぐくむ基礎を培う。
- ② 食に関する全体計画や年間指導計画に位置付けをし、各教科等、学校の教育活動全体を通じて計画的、組織的に指導を行うよう努める。

1 1 人権教育


人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育成する

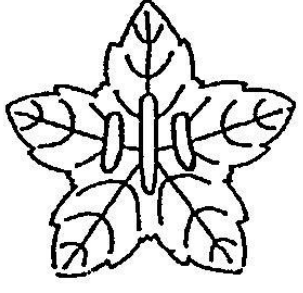
- ① 学校の教育活動全体を通じて、人権問題の正しい理解を深め、解決に向けて主体的に行動できる児童生徒の育成に努める。
- ② 児童生徒や地域の実態に基づき、全体計画及び年間指導計画を作成し、全教職員の協力体制を整え、計画的、組織的な実践に努める。
- ③ 児童生徒一人ひとりの人権意識の高揚を図り、他者の痛みを共有できる共生の心を醸成するとともに、人権への配慮を態度や行動に表せる人権感覚の育成に努める。
- ④ 各学校及び関係機関との連携を図るとともに、ねらいや方針について、家庭や地域の人々の理解と協力が得られるように努める。

1 2 特別支援教育

すべての学校において、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する

- ① 特別支援教育全体計画を作成し、校内委員会の設置及び特別支援教育コーディネーターの指名を行うなど計画的、組織的な対応が可能な校内支援体制の整備・充実に努める。
- ② 早期に一人ひとりの教育的ニーズの把握を行い、特別支援学校等の助言・援助を活用するなど、関係機関と連携して個別の教育支援計画等を作成し、適切な支援に努める。
- ③ 特別支援学級においては、個別の指導計画を作成し、各教科等を合わせた指導などの指導の形態について検討・工夫を行う。
- ④ ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進のために、一人ひとりの障害の状態等に即して作成した年間指導計画に基づき、交流及び共同学習を実施し、充実に努める。


学校名	上里町立神保原小学校				
所在地	上里町大字神保原町814番地				
電話	33-3074	FAX	33-9105		
校長名	金澤清久				
教頭名	島田悦子				
生徒数	327人	学級数	14学級	教職員数	
教育指導の重点					
教育目標	<p style="text-align: center;">○ 心豊かな子 ○ かしこい子 ○ 健康な子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 知・徳・体のバランスのとれた心身ともにたくましい児童の育成 </div>				
経営方針	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学校教育目標の具現化を目指し、「生きる力をはぐくむ、活力ある学校」づくりに努める </div> <p>(1) 校風・伝統を継承し発展させる学校づくりの推進を通して、教育目標の具現化を図る。</p> <p>(2) 児童に存在感・自己有用感を味わわせる教育活動を推進する。</p> <p>(3) 児童一人ひとりに基礎的・基本的な学力や規律ある態度、学力を確実に身につけさせる。</p> <p>(4) 家庭・地域・関係機関との連携図り、信頼される学校づくりに努める。</p> <p>(5) 全職員が専門性や創意を發揮し、校務分掌の組織化・機能化に努める。</p> <p>(6) P・D・C・Aサイクルを生かし、教育活動の改善・向上に努める。</p> <p>〈目指す学校像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認め合う・助け合う・高め合う学校 ○保護者や地域の方から信頼される学校 ○教職員が専門性や創意を發揮する活力に満ちた学校 <p>〈目指す児童像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夢や希望をもち、元気に全力で取り組む子 <li style="padding-left: 20px;">・相手の立場を思いやる子 ・全力で学習に取り組む子 ・心身ともにたくましい子 <p>〈目指す教師像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供と共に歩み、夢を育む教師 ○家庭や地域の期待に応え、信頼される教師 ○誇りと自信にあふれ、心身ともに人間的魅力ある教師 				
本校の特色	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導やT・T、習熟度別指導を積極的に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を実践し、確かな学力の定着に努めている。 ○自然環境や地域の方々とのふれあいを重視した体験的な活動の充実に努めている。 ○あいさつ・返事・くつそろえの推進や、清掃活動の充実にを図ることで、基本的な生活習慣の定着や豊かな心の育成に努めている。 ○朝の運動（チャレンジタイム）を通して体力の向上や健康の保持・増進に努めている。 				
研究課題	<p style="text-align: center;">基礎的・基本的な知識・技能の習得 ～ 楽しくわかる算数科の授業実践を通して ～</p>				

学校名	上里町立賀美小学校												
所在地	上里町大字金久保862番地												
電話	33-0026	FAX	33-0154										
校長名	黒沢良江												
教頭名	中兼淳一												
生徒数	228人	学級数	12学級	教職員数		19人							
教育指導の重点													
教育目標	<p>☆ たくましい子 <健康な体に></p> <p>☆ 考える子 <確かな学びを></p> <p>☆ やさしい子 <豊かな心を></p>												
経営方針	<p>かがやく みらいに</p> <p>「子どもが主役の学校」「安全で潤いのある学校」「地域に信頼される学校」をめざし、全教職員の共通理解を基本にして、学校経営に積極的に関わる姿勢と、責任ある参画によって、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和がとれた「生きる力」をもつ児童を育成する。</p> <p>学校像 「児童一人ひとりが生き生きと活動している学校」 「教師が互いに磨き合い、高め合い、鍛え合い、保護者の信頼に応える学校」</p> <p>児童像 「未来に夢を持ち、目標に向かってチャレンジする子」</p> <p>教師像 「教育への情熱をもち、子どもと共に伸びようとする人間性豊かな教師」 「専門職としての意識をもち、常に学び続け、創意工夫する教師」 「教育公務員としての自覚をもち、使命感あふれる教師」</p>												
本校の特色	<p>○ 生きる力と豊かな心を育てるために、児童、職員、家庭がそれぞれ宣言をしている。</p> <p>○ 自分の目標に向かって努力する態度を育てるために、「100の挑戦」を奨励している。</p> <p>○ 表現力を伸ばし、達成感を味わわせるために、「詩の暗唱」に取り組んでいる。</p> <p>○ 豊かな心を育てるために、保護者や地域の方々とふれあう体験活動を充実している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">賀美っ子宣言 5</p> <p>賀美っ子は</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 元気にあいさつ・返事をします。 ☆ 目あてに向かって、がんばります。 ☆ だれにもやさしく、親切にします。 ☆ 進んで行動、きれいな学校にします。 ☆ 自分の体を鍛え、自分を大切にします。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">家庭宣言 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 朝のあいさつ目を見て、「おはよう」 ◇ 毎日確認、「早寝、早起き、朝ご飯」 ◇ 親子で実践、「運動の日」「読書の日」 ◇ 親がお手本、「社会のマナー」 ◇ 「よさを発見」、認め・喜び・ほめる親 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">賀美小職員宣言：1日の実践 8</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 児童に進んで明るくあいさつします。</td> <td style="width: 50%;">5 授業の開始・終了をきちんと守ります。</td> </tr> <tr> <td>2 児童の声にきちんと耳を傾けます。</td> <td>6 授業で一人ひとりが参加できる指導をします</td> </tr> <tr> <td>3 すべての児童に「名前」で声をかけます。</td> <td>7 給食・清掃指導で健康な児童を育てます。</td> </tr> <tr> <td>4 すべての児童に公平に接します。</td> <td>8 環境を整え、児童の安全を守ります。</td> </tr> </table> </div>					1 児童に進んで明るくあいさつします。	5 授業の開始・終了をきちんと守ります。	2 児童の声にきちんと耳を傾けます。	6 授業で一人ひとりが参加できる指導をします	3 すべての児童に「名前」で声をかけます。	7 給食・清掃指導で健康な児童を育てます。	4 すべての児童に公平に接します。	8 環境を整え、児童の安全を守ります。
1 児童に進んで明るくあいさつします。	5 授業の開始・終了をきちんと守ります。												
2 児童の声にきちんと耳を傾けます。	6 授業で一人ひとりが参加できる指導をします												
3 すべての児童に「名前」で声をかけます。	7 給食・清掃指導で健康な児童を育てます。												
4 すべての児童に公平に接します。	8 環境を整え、児童の安全を守ります。												
研究課題	<p>主体的に生きる児童の育成</p> <p style="text-align: center;">— 自分のよさを発揮して活動する児童を目指して —</p>												

学校名	上里町立長幡小学校				
所在地	上里町大字藤木戸145番地				
電話	33-0907	FAX	33-9288		
校長名	日向哲郎				
教頭名	小林敬一				
生徒数	257人	学級数	12学級	教職員数	


教育指導の重点

教育目標	○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○元気な子
経営方針	<p>上里町立長幡小学校の伝統と良き校風を築くため、教職員相互の信頼と英知を結集し、「知・徳・体」のバランスのとれた「よい子」の育成に取り組む。</p> <p>めざす学校像…「学校の主役は児童」</p> <p>(1) 元気な子どもが育つ学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよいあいさつ、規則正しい生活ができる学校 ・わかる授業を実践し、確かな学力を身に付ける学校 <p>(2) 信頼される学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもを通わせたい学校 ・子ども、保護者、地域の声に耳を傾け、誠実、迅速、親身になって対応する学校 <p>(3) 楽しく安全な学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが成就感・存在感を実感できる学校 ・学習環境が美しく整備され、安心・安全な学校 <p>めざす教師像…「学校の中核は教師」</p> <p>(1) スピード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に子どもに目を向け、「迅速」な対応ができる教師 ・報告—連絡—相談により、自らの役割を責任をもって遂行する教師 <p>(2) スマイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔で、「誠実」に対応できる教師 ・やさしい言葉遣いと毅然とした態度ができる教師 <p>(3) チャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常を疑い、前向きに「改善」に取り組む教師 ・自らの指導力を高める努力を惜しまない教師 <p>本年度の経営方針</p> <p>学校教育目標の実現をめざし、「よい子」が育つ学校づくりを推進する。</p> <p>(1) 教職員一人ひとりがそれぞれの特性を生かし、積極的な経営参加に努める。</p> <p>(2) よさを認め励まし、明るく元気な子どもが育つ学校づくりに努める。</p> <p>(3) 児童が「確かな学力」を身につける授業を実践し、社会生活の基礎基本が着実に定着するよう努める。</p> <p>(4) 教育者としての使命を自覚し、積極的に研修に取り組み、指導力向上に努める。</p> <p>(5) 教育環境を整備し、児童の学ぶ意欲の向上とともに健康・安全の保持に努める。</p> <p>(6) 学校応援団活動の充実により、家庭、地域社会との一層の連携に努める。</p>
本校の特色	<p>○算数科を中心に少人数指導等を実施し、児童一人ひとりに応じたきめ細かな指導を充実させ、「確かな学力」の定着を図っている。</p> <p>○地域の梨農家の協力により、梨の木（3本）を借り、全校児童で剪定・受粉・摘果・収穫等の梨栽培活動に取り組み、勤労体験と思いやりの実践の場としている。</p> <p>○教師の創意工夫により「長幡小の学習スタイル」「学力ポイント制度」「チャレンジスポーツコーナー」など、児童の学ぶ意欲を引き出す取組を全校で進めている。</p> <p>○学校応援団やPTAの協力を得て、児童の登下校の安全確保に努めている。</p>
研究課題	<p>読むことに意欲をもち、正しく理解し、豊かに表現する児童の育成</p> <p>—より効果的な国語科学習を目指して—</p>

学校名	上里町立七本木小学校				
所在地	上里町大字七本木455番地				
電話	33-0544	FAX	33-9212		
校長名	荻原昌子				
教頭名	内田光一				
生徒数	420人	学級数	15学級		教職員数

教育指導の重点


教育 目標	<p>○進んで学ぶ子</p> <p>○元気でたくましい子</p> <p>○おもいやりのある子</p>
経 営 方 針	<p>児童、職員、保護者、地域の方々が充実感を得られる学校づくりの推進</p> <p>○目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや職員が充実感をもてる学校 ・花や緑があふれる美しい学校 ・家庭、地域から信頼される学校 <p>○目指す児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を認め、自分を大切にし、自分を愛する子 ・人の話を良く聞く子 <p>○目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に対する強い情熱のある教師 ・教育の専門家としての確かな力量のある教師 ・総合的な人間力を持つ教師
本 校 の 特 色	<p>○本とのふれあいの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日、朝の10分間読書により、様々な世界に触れ感動し世界を広げる ・ボランティアによる読み聞かせにより、読書意欲を育てる。 <p>○七本木のよい子（七つのことが本木でがんばれる子）の推進</p> <p>○社会福祉施設との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人「梨花の里」知的障害者更生施設「梨花の里」 ・児童養護施設「上里学園」
研究 課題	<p>相手を認め、お互いを高められる集団づくり ～よりよい集団をつくれる児童の育成～</p>

学校名	上里町立上里東小学校				
所在地	上里町大字七本木1573番地				
電話	33-1621	FAX	33-1021		
校長名	丸山 修				
教頭名	島村 和広				
生徒数	744人	学級数	25学級	教職員数	
教育指導の重点					
教育 目標	【考える子】 《知》 【思いやりのある子】 《徳》 【がんばりぬく子】 《体》				
経 営 方 針	◇目指す学校像 「あいさつ、返事、くつそろえのできる学校」 ◇学校経営の柱 (1) 学びあう学校 《確かな学力の定着》 (2) 思いあう学校 《心豊かな児童の育成》 (3) 鍛えあう学校 《健康な体と体力の向上》 (4) 信頼しあう学校 《地域・保護者との連携》 (5) 高めあう教師 《研鑽と授業力の向上》 ◇学校経営の指針 ・ Something One (ひとつでも、少しでも工夫を) ・ 3S Smile (笑顔) Support (支援) Spirit (心意気)				
本 校 の 特 色	○信頼され、明るく、楽しく、美しい、開かれた学校を目指しています。 ・ 教師が自らの資質向上につとめ、工夫された楽しい授業づくりを進めています。 ・ 体験活動の工夫や様々なイベントの充実で楽しい学校づくりを進めています。 ・ 運動の楽しさを味わいながら体力づくりができるよう工夫しています。 ・ 英語活動や国際理解教育を工夫・充実しています。 ・ くつそろえとあいさつ運動を中心に、基本的な生活習慣の定着につとめ、心豊かな児童を育てています。				
研 究 課 題	心豊かにかしこく生きる東っ子の育成 ～ 豊かな人権感覚の育成を目指して ～				

学校名	上里町立上里中学校				
所在地	上里町大字七本木336番地				
電話	33-2974	FAX	33-6881		
校長名	根岸康雄				
教頭名	氏家勉				
生徒数	522人	学級数	18学級	教職員数	

教育指導の重点

教育 目標	<p>「かしこく、やさしく、たくましく」</p> <p>かしこく …自ら学ぶ生徒 やさしく …心豊かな生徒 たくましく…自ら鍛える生徒</p>
経 営 方 針	<p>全教職員が知恵を出し合い、基礎的・基本的事柄を大切にし、生徒一人ひとりが主人公となれる学校づくりを推進し生きる力を育む。</p> <p>○生徒一人ひとりの学びを保障し、希望と夢を育む教育を推進する。 <協同的な学びを通して></p> <p>○実践目標・上里中4つの基本や朝読書など、日常的な事柄を徹底し深化させ、自信と誇りを育てる。 <実践目標> 時を守り 場を清め 礼を正す <上里中4つの基本> 明るくあいさつ きれいな学舎 時間を守る 靴をそろえる</p> <p>○認め・ほめ・励まし・寄り添い、教職員と生徒、生徒相互の信頼関係を醸成する。</p> <p>○学びの場の基盤としての学級経営の充実を図る。</p> <p>○安全で安心して学べる教育環境を整備する。</p>
本 校 の 特 色	<p>本校では、生徒一人ひとりの願いを実現させ、活気と笑顔あふれる学校とするため、学びを通して、学習や生活の基礎基本を身につけさせることを目指しています。</p> <p>○「学び合い学習（協同的な学び）」への取り組み ○「上里中4つの基本」への取り組み ○少人数指導の実施 ○人権教育の充実 ○生徒会活動の充実 ○部活動の充実</p>
研究 課題	<p>学習面・生活面における基礎・基本の確実な定着を図る。 ～「学び合い学習（協同的な学び）」と「上里中4つの基本」を柱として～</p>

学校名	上里町立上里北中学校				
所在地	上里町大字金久保249番地				
電 話	3 3 - 7 7 4 9	F A X	3 3 - 7 7 4 8		
校長名	島 田 啓 司				
教頭名	桂 田 佳 郎				
生徒数	4 4 6 人	学級数	1 4 学級	教職員数	
教 育 指 導 の 重 点					
教育 目標	<p>○かしこく 「よく考え、進んで学ぶ生徒」</p> <p>○やさしく 「思いやりのある生徒」</p> <p>○たくましく 「自ら心身を鍛える生徒」</p>				
経 営 方 針	<p>上里北中学校の歴史と良き校風を築き発展させるため、全職員が目標を共有し、組織の一員として自分の持てる力を発揮し、目標の実現に向かって行動する。そして全職員が相互理解と協力の精神に徹し、慎重さと果敢さをもって知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成に努める。</p> <p>○目指す学校像 「生徒の夢をはぐくみ、生徒・保護者・地域・教職員の誇りとなる学校」 （1）学びたくなる学校 （2）通わせたくなる学校 （3）勤めたくなる学校</p> <p>○目指す生徒像 （1）よく考え、進んで学ぶ生徒 （2）思いやるのある生徒 （3）自ら心身を鍛える生徒</p> <p>○目指す教職員像 「汗いっぱい 優しさいっぱい 知恵いっぱい」 （1）使命感に燃え、よく動く教職員 （2）生徒理解を基盤とし、生徒にかかわる教職員 （3）研修に努め、互いに高め合う教職員 （4）保護者や地域の願いを大切にする教職員</p>				
本 校 の 特 色	<p>○学力の向上 ・基礎的・基本的事項の確実な習得（計算テストや漢字テスト） ・話し合いや発表などの言語活動の充実</p> <p>○豊かな心の育成 ・重点指導項目「時を守る・場を清める・礼を尽くす・思いやりの心」の徹底 ・「あいさつ・返事・くつそろえ」の推進 ・福祉活動の充実</p> <p>○自ら参加する学校・学年行事 ・生徒が活躍する学校行事</p> <p>○学びの場として環境作り ・清掃活動の充実（膝付き清掃・無言清掃） ・校内掲示や生徒作品の展示</p>				
研究 課題	<p>確かな学力の定着 — 言語活動（発表）の充実を通して —</p>				

小中学校児童・生徒数の推移

(各年度5月1日現在)

学校名 年度	神保原小	賀美小	長幡小	七本木小	上里東小	計	上里中	上里北中	計	総計
昭和 60	550	324	345	582	696	2,497	744	478	1,222	3,719
61	495	309	336	569	729	2,438	825	510	1,335	3,773
62	453	308	322	551	712	2,346	879	505	1,384	3,730
63	429	299	321	497	696	2,242	912	494	1,406	3,648
平成 1	409	302	307	483	701	2,202	902	452	1,354	3,556
2	403	310	297	483	714	2,207	892	432	1,324	3,531
3	420	323	331	484	727	2,285	864	393	1,257	3,542
4	413	329	325	481	777	2,325	828	418	1,246	3,571
5	424	353	326	465	826	2,394	753	464	1,217	3,611
6	411	355	316	461	834	2,377	711	525	1,236	3,613
7	407	340	306	457	838	2,348	706	539	1,245	3,593
8	389	331	315	436	818	2,289	716	569	1,285	3,574
9	357	330	287	427	791	2,192	732	573	1,305	3,497
10	356	326	288	430	767	2,167	720	566	1,286	3,453
11	347	315	276	414	713	2,065	706	537	1,243	3,308
12	364	296	280	405	691	2,036	658	515	1,173	3,209
13	367	302	282	409	712	2,072	613	493	1,106	3,178
14	373	303	272	439	701	2,088	605	477	1,082	3,170
15	373	282	268	444	728	2,095	567	466	1,033	3,128
16	354	259	269	417	724	2,023	567	483	1,050	3,073
17	360	259	276	410	727	2,032	549	455	1,004	3,036
18	375	258	269	425	758	2,085	549	448	997	3,082
19	354	250	258	421	751	2,034	551	450	1,001	3,035
20	344	236	249	432	761	2,022	554	486	1,040	3,062
21	346	237	242	436	762	2,023	556	504	1,060	3,083
22	353	233	240	448	745	2,019	515	483	998	3,017
23	334	230	252	428	761	2,005	508	443	951	2,956
24	328	228	257	419	744	1,976	522	446	968	2,944

小中学校学級編制一覽表

平成 24 年 5 月 1 日現在

学校名	区 分 項 目	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特学	合計
		神保原小 教員数(20) 職員数(1)	児童数	51	48	61	57	55	52
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
賀美小 教員数(18) 職員数(1)	児童数	33	37	29	42	41	41	5	228
	学級数	1	2	1	2	2	2	2	12
長幡小 教員数(18) 職員数(1)	児童数	44	48	42	35	35	48	5	257
	学級数	2	2	2	1	1	2	2	12
七本木小 教員数(26) 職員数(1)	児童数	67	58	69	67	75	69	14	419
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
上里東小 教員数(37) 職員数(2)	児童数	104	132	105	124	141	123	15	744
	学級数	3	4	3	4	4	4	3	25
合計 教員数(119) 職員数(6)	児童数	299	323	306	325	347	333	43	1,976
	学級数	10	12	10	11	11	12	12	78

上里中 教員数(34) 職員数(1)	児童数	176	169	162			15	522
	学級数	5	5	5			3	18
上里北中 教員数(27) 職員数(1)	児童数	153	144	144			5	446
	学級数	4	4	4			2	14
合計 教員数(61) 職員数(2)	児童数	329	313	306			20	968
	学級数	9	9	9			5	32

小中学校教職員配置状況一覧

(平成 24 年 5 月 1 日現在)

区分 学校名	校長 教諭	栄養 教諭	養護 教諭	事務 職員	合計
神保原小	19	0	1	1	21
賀美小	17	0	1	1	19
長幡小	17	0	1	1	19
七本木小	25	0	1	1	27
上里東小	35	1	1	2 (1)	39 (1)
上里中	33	0	1	1	35
上里北中	26	0	1	1	28
合計	172	1	7	8	188 (1)

・H24職員調査表より
うち()は、町費負担分

学校建設事業

1. 趣旨

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、児童生徒の「生きる力」を育むための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割を担うことから、その安全性の確保は特に重要です。

本町では、社会情勢や教育環境の変化等により、学校の建設や教育環境の整備、学校施設の安全性確保を最優先課題とした耐震補強工事、大規模改修工事など、時代に即した施設の整備を行ってきましたが、平成7年1月17日の阪神淡路大震災に続き、平成23年3月11日には東日本大震災が発生するなど、国を挙げて地震対策が急がれる中、町で実施した耐震2次診断等の調査結果を踏まえ、耐震化の必要のない賀美小学校、上里北中学校を除く小・中学校の耐震化を進めるため改修工事を実施しており、平成28年度の耐震化事業の完成を目指しております。

本町にある公立学校施設の多くは、昭和40年代から昭和50年代の児童生徒急増期に建築された施設が多いため、老朽化が進んでいます。今後は学校施設の改修・改築の需要が集中してくる中、学校施設の再生整備に取り組む必要があり、効果的に整備を進めることにより、児童生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動が可能となるよう、老朽化した学校施設の再生整備やその推進方策について検討する必要があります。

2. 耐震化事業の変遷

(1) 耐震化事業実績

- 平成16年9月 神保原小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
- 平成18年8月 七本木小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
- 平成21年9月 上里東小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
- 平成23年9月 長幡小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）

(2) 耐震化事業（予定）

- 平成24年10月 上里中学校改築事業（建て替え）開始（校舎棟・特別教室棟・体育館・外溝工事）等を行う。（平成24年～平成28年）
- 平成24年10月 神保原小学校体育館・賀美小学校体育館の改修工事（耐震補強・大規模改造）等工事を予定している。
- 平成25年 長幡小学校体育館・七本木小学校体育館改修工事（耐震補強・大規模改造）等工事を予定している。

学校施設・設備等一覧表

1. 校地・校舎

平成24年5月1日現在

学校名	児童生徒数 (人)	校 地 (㎡)			校舎延面積 (㎡)	開校年月日
		建物敷地	運動場	計		
神保原小	328	10,792	9,114	19,906	4,739	明治 19.4.26
賀 美 小	228	9,426	7,150	16,576	3,171	明治 6.9.2
長 幡 小	257	6,650	8,852	15,502	3,160	明治 6.9.10
七本木小	419	8,553	9,737	18,290	3,545	明治 6.3.8
上里東小	744	9,205	11,700	20,905	4,746	昭和 51.3.13
上 里 中	522	14,913	25,430	40,343	6,159	昭和 38.3.31
上里北中	446	12,354	16,965	29,319	4,696	昭和 58.4.1

2. 校舎・プール・体育館の建設日等

	校舎完成日	プール竣工日	体育館竣工日	体育館面積 (㎡)
神保原小	昭 47.4.7	昭 42.7.10	昭 47.4.13	691
賀 美 小	昭 53.3.7	昭 44.7.13	昭 48.3.30	577
長 幡 小	昭 53.8.25	昭 43.7.31	昭 48.7.10	609
七本木小	昭 51.4.1	昭 51.4.1	昭 51.4.1	589
上里東小	昭 51.4.1	昭 51.4.1	平 9.2.28	1,298
上 里 中	昭 40.7.1	昭 41.7.10	昭 41.4.3	1,125
上里北中	昭 58.4.1	昭 59.6.21	昭 59.3.1	1,132

生涯学習



成人式



人権教育研究集会



人権講演会



放課後子ども教室
(のびっ子①)



放課後子ども教室
(のびっ子②)



人権教育指導者養成講座



放課後子ども教室
(わんぱく合宿塾①)



放課後子ども教室
(わんぱく合宿塾②)



集会所ケーキ作り



ちゃれんじクラブ
(米作り教室-田植え①)



ちゃれんじクラブ
(米作り教室-田植え②)



親となるための学習



子ども会ジュニアリーダー研修会
①



子ども会ジュニアリーダー研修会
②



町民体育祭



町民ハイキング



乾武マラソン大会



神保原公民館
(公民館・児童館まつり)



賀美公民館
(もちつき大会)



長幡公民館
(健康教室)



七本木公民館
(料理教室)



上里東公民館
(陶芸教室)



中央公民館ちゃれんじクラブ
(鮭の観察)



郷土資料館
(火おこし体験)

平成24年度上里町生涯学習の方針・施策

生涯学習とは

生涯学習とは、生活の向上や職業上の能力の向上、自分の価値観に従った生き方の実現を目指して、自発的な意志に基づき、生涯を通して学ぶことです。

そして、生涯学習は学校教育や社会教育及び家庭教育の中で意図的・組織的な学習活動として行われるだけではなく、スポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動の中でも行われるものです。

したがって、小・中学校などの学校、公民館、図書館、体育館などの社会教育施設（以下、生涯学習施設という。）の講座・教室、事業所の研修、民間のカルチャースクールやスポーツクラブの講座などの組織的な学習だけでなく、私たちが生活の中で関心のある事柄を調べたり、ボランティア活動に参加したり、親子でスポーツを楽しんだりしながら、何かを学びとることも生涯学習につながるものです。このように、生涯学習は人々の生涯を通じて、多様な機会、方法により展開される学習活動全体を指すものと言えます。

生涯学習の意義

（１）生涯の各時期を生き生きと喜びとともに過ごす

高齢化や余暇時間の増大などを背景に、自由時間をいかに充実し、生きがいを持って過ごすかということに高い関心が寄せられています。

また、成長から成熟へと向かう時代の中で、経済的な豊かさを楽しむのではなく、精神的なゆとりや心の豊かさをもたらし活動を楽しむことが求められるようになりました。生涯学習には、学校や講座・教室に通う、同好者同士でスポーツや文化活動をする、レクリエーションを楽しむ、ボランティア活動に参加するなど、様々な領域、方法があります。

これらの中から、自分に合った機会を選び、関心を持っている事柄を選んだり、楽しんだりしながら知識や技能を高め、健康に過ごすことは、一人ひとりの心に充実感や豊かさをもたらし、生きる喜びに通じるものです。

（２）社会の変化に対応し、よりよく生きる

情報化、国際化や科学技術の高度化などにより、私たちの生活はより便利で、快適で、豊かなものとなりました。その反面、情報技術に習熟している人とそうでない人との格差の問題が象徴するように、常に新しい知識・技術を身につけていかないと、日常生活や職業生活で不便や不都合が生じるという面も見られるようになりました。

このような社会の変化に対応して生活していくためには、新しい知識や技術を身につけることが必要となっています。

（３）一人ひとりの向上により、社会全体の向上を図る

「人づくりはまちづくり」という表現に集約されるように、社会を構成する一人ひとりがモラルや知識、創造力や行動力を高めることで、社会全体の健全な発展がもたらされます。

特に近年は、地球環境問題、ノーマライゼーションや人権問題などに対する意識が高まっており、一人ひとりがこれらの問題を正しく理解し、行動していくことが必要となっています。

また、学んだ成果を生かして人々が地球社会に積極的に関わっていくことで、新しいコミュニケーションの形成や学習活動を通じた地域の活性化が進むことが期待され、住民主体のまちづくりを促す上でも生涯学習は重要となっています。

基本方針

町民の一人ひとりが、社会情勢の変化に対応し、生きがいのある充実した生活を送るためには、自ら学んでいくことが望まれる。

このため、生涯学習施設を整備したり充実したりすることは必須であり、望ましい地域社会の形成と生涯学習の観点から、自主的学習意欲を喚起し、生きがいを感じられるような生涯学習活動を助長する。

また、社会教育事業を適正かつ円滑に運営するためには、関係機関、団体との連携協力のもと、より充実した社会教育行政の推進を図り、町民の主体的、自主的な学習を振興するため、町民の自主的な学習活動の支援、町民の企画、運営による学習機会の創出を進めると共に、学習活動に必要な指導者の確保、充実した生涯学習関連情報の提供を進める。

主な施策

(1) 生涯学習施設の充実を図る

- ①地域交流の拠点としての地区公民館の充実を図る
- ②図書館・郷土資料館の充実を図る

(2) 地域活動の促進と学習機会の充実

- ①多様化、高度化する町民の学習要求に対応する社会教育活動の内容、方法の改善充実を図る
- ②学習情報システムの確立
- ③中央・地区公民館の連携を図り、地域に根ざした住民参加の地域活動の活性化を図る
- ④町民の生涯学習活動の積極的参加を促進するため、広報活動を充実する
- ⑤社会教育指導者の養成と確保、資質の向上を図る
- ⑥自主活動グループの育成と活動の支援を推進する
- ⑦図書館活動の推進を図る

(3) 文化財の充実と文化活動の推進

- ①文化財の保護・活用及び調査
- ②文化財保護思想の普及
- ③埋蔵文化財の保護と調査の充実
- ④史跡の整備と活用

(4) 町民の健康体力の増進と生涯スポーツの推進

- ①健康・体力づくり振興会の活動・事業の充実
- ②専門スポーツ、レクリエーション活動の推進
- ③青少年のスポーツ活動の育成と推進
- ④各総合グラウンド、学校体育施設の開放促進
- ⑤社会体育指導者の養成と充実

(5) 人権教育の優れた指導者養成と啓発活動の推進

- ①人権問題の正しい理解と認識を深めるため、指導者養成・研修と啓発事業の実施
- ②人権教育の推進体制の整備と指導者の量的拡大と資質の向上を図る
- ③地区公民館を中核に捉えた啓発事業の充実

(6) 地域ぐるみの青少年健全育成と家庭教育の充実

- ①青少年団体育成活動の推進
- ②青少年の野外活動等学習機会の提供・充実
- ③家庭教育学級の開設と充実を図る
- ④家庭・学校・地域・職場・行政の連携を図る
- ⑤青少年の社会参加活動の推進
- ⑥地域ぐるみ健全育成運動の推進

平成24年度上里町社会教育事業

I 生涯学習推進事業

1. 趣旨

人生80年代を迎えた今日、科学技術の急激な発展、高度化する情報、国際化等さまざまな社会変化が生じています。このような社会変化に伴い、町民の学習ニーズも多様化、高度化しており、高齢化、高学歴化などとあいまって、その傾向は今後一層顕著になるものと考えられます。

さらに、これからは社会の変化に対応して個人が時代に適応しうるよう、学習者を教育受益者としてではなく社会生活を営む上で、自己を確立し、自ら学ぶという思想を形成し、自立した個人としてとらえ、意欲と創意を引き出すことを主眼に人格形成を図る必要があります。

そのためには、上里町民として、国際化社会、情報化社会、高齢化社会に即応した学習や家庭生活、社会生活、地域活動等における多くの要求課題や必要課題に応じた学習を可能にする「いつでも、どこでも、だれでも」が学べる社会を創造し、町民がうるおいと生きがいを持ち、心豊かな充実した人生を送れるような学習社会の実現とまちづくりが求められており、その学習を援助していくために生涯学習推進体制の整備が行政の大きな課題となっています。

2. 生涯学習推進事業

平成3年12月の「上里町における生涯学習推進方法について」答申に基づき事業を推進する。

(1) 上里町カレンダー「生きがい発見わくわくカレンダー」の作成

(2) 生涯学習講師派遣事業の実施

この事業は、町民のみなさんの学習機会を増やし、「いつでも、どこでも、だれでも」学べる生涯学習社会を推進していくためのものです。

(3) まちづくり塾支援事業

この事業は、町民の自由な発想を生かし研究・実践活動をとおして、地域の人材を育成するとともに、広く町民が参加できる「ふるさと創生活動」を展開します。

(4) 放課後子ども教室推進事業

子ども達が放課後や週末等に安全かつ安心して、異年齢で勉強や体験活動・スポーツ・文化活動を行える場所を整備すると共に、地域の方々の参画・支援を得て行う大人との交流をとおして、心豊かで元気な子どもを育成することを目的に実施します。

◎のびっ子教室（平日 放課後）

放課後の居場所を設け、宿題や読書、様々な遊びを通して異年齢での交流を進めます。

・上里東小学校・賀美小学校

◎ちゃれんじクラブ（土・日、長期休業日）

異年齢での様々な体験活動や地域住民との交流活動を進めます。

・米づくり体験教室（田植えから収穫祭 4回開催）

・小麦栽培体験教室（麦まきから収穫祭 5回開催）

- ・ホタルの観察（神保原地内）
- ・鮭の飼育・観察（孵化から放流 4回）
- ・親子料理教室（各小学校区）
- ・食育学習（サツマイモの植え付けと収穫）
- ・工作教室
- ・俳句教室 他

◎わんぱく合宿塾（9月初旬の4泊5日）

子どもたちが親から離れて異年齢での共同生活を行うとともに、地域での様々な体験活動を進めます。

◎子ども向け情報誌「じゃじゃ〜ん」の発行（年2回）

おもに児玉郡市内で開催される子ども向けの様々な体験活動の情報を提供します。

（5）家庭教育の推進

◎親の学習

社会の急激な進展に伴い家庭の教育力の低下が指摘されております。国の調査によっても、約7割の親が家庭の教育力の低下を実感しており、しつけや子育てに自信がない家庭が増加しています。そこで、家庭の教育力を高めるため、子どもの発達段階に即した学習の機会を提供しています。

- ・就学時検診時の学習 各小学校
- ・6年生をもつ親の学習 各小学校

◎親となるための学習

近い将来親となる中学生を対象に、保育園での幼児との交流を通して子育て等の理解を図る「親となるための学習」に取り組みます。

- ・各中学校3年生 実習先 中央保育園 萌美保育園 安盛保育園

（6）第59回成人式

成人の門出を町民全体で祝うとともに、二十歳になった皆さんが、成人としての様々な権利を持つと同時に、多くの責任や義務を負いながら、社会の重要なメンバーとして地域社会や町発展のため、積極的に行動していただくために実施します。

- ・日時 平成25年1月13日（日）午前10時
- ・会場 ワープ上里

（7）社会教育団体の育成

①上里町子ども会育成会連絡協議会

各小学校地区子ども会育成会（5団体）単位子ども会育成会（42団体）

全町事業

- ・上里町子ども会リーダー研修会の開催 6月2日（土）～3日（日）
- ・第24回上里町子ども会なわとび大会の実施 11月10日（土）
- ・第25回上里町子ども会郷土かるた大会の実施 1月19日（土）

②上里町婦人会（SALA上里）

SALA賀美、SALA七本木、SALA神保原の3団体で構成

- ・ホームヘルパー取得資格の活用
- ・地域ボランティア活動の推進
- ・町行事等への協力

③上里町PTA連合会

各小学校（5団体）、各中学校（2団体）の単位PTAで組織されている。

- ・上里町PTA連合会情報交換会の実施 9月1日（土）
- ・上里町PTA連合会スポーツ交流大会の実施 11月11日（日）

Ⅱ スポーツ振興事業

1 具体的方針

①生涯スポーツの普及・振興

健康で明るい生活を実現するため、町民総スポーツを提唱し、生涯にわたってスポーツが楽しめる基礎づくりの推進に努める。

②スポーツ団体の育成

生涯スポーツや競技スポーツの指導者の育成と指導体制の確立に努めるとともに、各種スポーツ団体と連携を図りながら指導・育成に努める。

③スポーツ施設の整備充実と適正な管理運営

スポーツ施設の整備充実を図り、管理運営と有効活用の推進に努める。

2 主な施策

①運営の重点

ア 施設の整備・充実を図り、安全と町民サービスに努め、管理・運営の合理化を推進する。

イ 運動需要の増大にともない施設・行事・クラブ活動状況を把握し、町民に適切な情報を提供することによって、競技スポーツ、生涯スポーツの普及・振興を図る。

ウ 指導内容の育成と指導・助言に重点を置き、体育・スポーツの向上を図る。

3 主な事業

- ・ 第44回町民体育祭の開催
- ・ 町民新緑ハイキング（高尾山）の開催
- ・ 第22回乾武マラソン大会の開催（町・教委・体協 共催）
- ・ 各種スポーツ教室の開催
- ・ スポーツ振興のための後援事業
- ・ 各種スポーツイベントの情報提供
- ・ スポーツについての調査研究及び情報事業
- ・ スポーツ施設等の管理運営と有効活用の推進
- ・ 賠償責任保険の確立
- ・ 第18回地域親善スポーツ大会（ソフトバレーボール）（健体・教委 共催）
- ・ 第26回地域スポーツ親善大会（インディアカ）（健体・教委 共催）
- ・ 第38回歩け歩け運動（健体・教委 共催）
- ・ 第38回町民ハイキング（健体・教委 共催）
- ・ 第35回元旦歩け走ろう会（健体・教委 共催）
- ・ 第16回スポーツ少年団交流大会（スポ少・教委 共催）
- ・ 第16回上里町レクリエーションフェスティバル（レク協・教委 共催）

上里町人権教育指導方針

基本方針

上里町教育委員会は、日本国憲法、教育基本法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び上里町民憲章、教育尊重の町宣言の精神をよりどころとして、人間尊重の精神を培い、個人の尊重を重んじ、合理的精神を養い、教育活動を通じ偏見や不合理な差別をなくすための指導の徹底をはかり、もって同和問題をはじめとした人権問題の根本的解決をはかる。

そこで、社会教育活動の全分野に人権教育を位置づけ、あらゆる場所を通して組織的に学習機会を提供し、人権教育を推進する。

(1) 具体的方針（社会教育）

- ①人権問題に深い理解と関心と認識をもち、人権教育の推進力となる指導者の養成を図る。
- ②社会教育関係団体指導者の指導力を強化するとともに、地域における活動の場において人権教育の積極的推進を図る。
- ③地域においては、多様な学習機会を通して、学習意欲を高め、人権問題を直感的にとらえる感性や、日常生活において態度や行動に現れるような豊かな人権感覚を育成する。
- ④生涯学習課・公民館等における青少年、成人、女性、高齢者を対象とする生涯学習の諸事業において、人権尊重の精神が正しく身につくよう人権問題解決のための内容を積極的に取り入れる。
- ⑤関係機関、関係団体との連絡を密にし、人権教育を正しく方向づけ、総合的な推進に努める。

(2) 人権教育推進事業

① 明るい地域づくり推進委員会

各地区公民館ごとに委員会を設置

- ・ 公民館事業と連携して、明るい地域づくり事業を推進
- ・ 第1回明るい地域づくり講演会を開催

日時 平成25年3月1日（金） 午後6時

会場 ワープ上里

内容 ・講演会 他

② 第1回人権講演会

日時 平成24年11月17日（土） 午前9時

会場 ワープ上里

内容 ・人権作文の発表 ・講演会

(3) 平成24年度人権教育指導者養成講座

期 日 10月～2月 6講座

時 間 午後1時30分～3時30分

会 場 上里町男女共同参画推進センター 他

参加者 社会教育関係団体、学校、区長会、集会所、企業、一般等

(4) 団体別人権教育研修

期 日 10月～2月 7会場

参加者 各小・中学校区PTA・子ども会育成会

(5) 同和対策集会所事業

①設置の目的

集会所は、部落差別を解消するために、対象地域住民の教育の機会を保障し、教育・文化の向上と地域住民の同和問題に対する正しい理解と人間関係の改善を通して、明るい地域社会づくりを図るために設置した社会教育施設である。

②集会所事業のねらい

- ・対象地域住民の教育・文化の向上を図る
- ・地域住民が、差別を見抜き、差別を許さない資質を身につけ、部落差別解消への強い意欲と実践力を育てる。
- ・地域住民の自主的・組織的活動を助長するとともに、人々の交流を通じて同和問題解決のための正しい認識と理解を図る。

③集会所の事業

- ・各種教室、講座の開催 6月～1月
- ・子ども学習会の開催 7月～3月
- ・高齢者学級の開催
- ・第24回集会所・隣保館まつりの開催

日時 平成25年2月2日(土) 午後1時

会場 ワープ上里

内容 ・芸能発表 ・展示発表

(6) 人権を大切にする会(昭和62年5月4日発足)

人権教育指導者養成講座修了者が自主的に組織している。(会員数167名)

- ・人権講演会の開催
- ・会員視察研修会の実施

公 民 館

1. 公民館の運営方針

総合的な社会教育の基盤を整備し、生涯学習時代にふさわしい魅力ある、そして、活力ある学級・講座を設け、地域の特性を生かした人づくり・地域づくりを推進する。

そのためには、学習しやすい体制づくりと各種の条件整備を図りながら、住民への学習機会の提供と学習意欲の喚起を促すとともに、公民館を生涯学習の拠点として位置づけ、急激な社会変化に対応できる柔軟な運営を行う。

本町には地域社会施設と併設された各地区の公民館が地域に根ざした各種の事業を行い、特色ある公民館活動を目指す。

- ①地域づくりの拠点として、地域活動推進のため公民館利用団体と協力提携を密にするとともに、お互いが連携し、交流の場を広げ地域づくり運動を推進する。
- ②生涯学習推進、明るい地域づくり教育推進、青少年育成活動推進の拠点として、公民館の機能を十分発揮するよう努める。

2. 上里町の公民館運営4原則

①地域中心の原則

公民館事業を考えるときは、中央からの指示によるものではなく、いつも地域を中心とした学びの場であるべきである。

②並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は各地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重されること。

③住民参加の原則

公民館事業の企画運営は地域住民によって組織された委員会や分館活動により自発的な住民の意思に基づいて行なわれることが大切である。

④機関自立の原則

公民館は教育委員会に属する教育機関であるが、その活動内容が行政の方針と異なる場合であっても、住民の意思による企画運営である限り尊重されることが大切である。（公民館は自立した教育機関である。）

3. 公民館努力目標

- (1) だれもが気軽に利用できる公民館にする。
- (2) 住民の生涯学習、明るい地域づくりの推進を図る。
- (3) 社会教育諸団体・諸機関との連携を密にして、地域の連携性を養う。
- (4) 社会教育機関としての施設の充実と職員・指導者の確保を図る。

4. 公民館の開放（貸館業務）

○ 開館日

毎日午前8時30分から午後10時とする。ただし、年末年始（12月29日～1月3日）

を除く。

5. 情報提供と活用

- 町広報誌・ホームページに事業等を掲載。
- 公民館だよりを発刊。公民館協力委員（行政区長）による行事回覧。
- 掲示板活用による情報伝達。
- 公民館活動推進員による住民との連絡体制の確立。

6. 主な施策

- ①主催事業・サルビア学級・せせらぎ大学の講座の充実及び実生活に即した系統的学習の促進
- ②芸術・文化・レクリエーション活動の助長
- ③サークル、団体の育成と指導者の養成
- ④利用団体との連携及び自主団体活動の推進
- ⑤資料の収集と学習情報の提供
- ⑥教育機器の整備充実
- ⑦明るい地域づくり教育の推進
- ⑧青少年健全育成活動の推進
- ⑨公民館活動推進員及び公民館協力委員との連携強化

* 公民館活動推進員及び公民館協力委員の仕事

（１）公民館活動推進員

- ①公民館事業の運営を行う。
- ②公民館活動の推進を図る。
- ③地域での各種団体活動の推進に協力する。
- ④町の社会教育行事の地域における推進と協力をする。
- ⑤明るい地域づくり推進委員会に参画し、当事業を推進する。

（２）公民館協力委員（各行政区長）

- ①行政区の正副区長を公民館協力委員に委嘱し、公民館活動に対し地域住民の理解を深め、地域活動に協力する。
- ②地域住民の要望をまとめ、関係機関に連絡・調整・協議をする。

7. 公民館活動計画

（１）公民館の行事・事業・学級

①行事

ア. 各地区「公民館まつり」

まつりをとおして公民館の事業内容を知っていただくと共に、児童館や男女共同参画推進センターと共催で地域の人々の心のふれあいと活性化を図る。

10月14日(日)	賀美・長幡・七本木	各公民館開催
10月21日(日)	上里東・神保原	各公民館開催

イ. 文化祭

上里町文化協会が主体となり、公民館利用団体、各種団体、個人が参加しそれぞれの文化活動を発表する。

○ 芸能発表の部

- ・期日 11月3日(土)
- ・会場 ワープ上里

○ 展示発表の部

- ・期日 9月～11月 各団体ごとに展示(予定)
- ・会場 町民ホール

②事業

ア. 明るい地域づくり推進教育

地区公民館事業、各種学級、教室、利用団体クラブ活動の中に当教育を組み入れる。

- 明るい地域づくり推進委員会の開催(8月)
- 明るい地域づくり推進講演会の開催(3月1日(金))

イ. 中央公民館事業

- 蛍の観察教室(7月に実施)町内全小学生対象
- 鮭の飼育観察(全4回・11月～2月に実施)町内全小学生対象

ウ. 地区公民館学級・講座

地区公民館は、地域社会に支えられて存在している。その地域社会の一員である住民が社会を取り巻くいろいろな問題や課題が自分たちの地域にどのように存在しているのかを地域の仲間と一緒にになって解明し、学習をとおして豊かで住みよい地域社会、心豊かなふるさとづくりを推進する。

○地区公民館学級

学級名	所属	内容	対象	回数
サルビア学級	賀美公民館	男性と女性が力を合わせ、豊かな家庭や住み良い地域社会を実現させることを目的とし、年間を通して開設する学級。	各地区 在住在勤 の男女	6～8
	長幡公民館			
	七本木公民館			
	上里東公民館			
	神保原公民館			
せせらぎ大学	賀美公民館	高齢者が健康で生きがいのある生活を目指し、趣味、教養、レクリエーション等に関する学習を行う。	高齢者	5～9
	長幡公民館			
	七本木公民館			
	上里東公民館			
	神保原公民館			

○地区公民館講座

賀美公民館	管外研修「高尾山ハイキングほか」 救急講座「AED」子ども事業「シャボン玉」 子ども俳句教室 明るい地域づくり推進委員会 ガーデニング 公民館・児童館まつり もちつき大会 しめ縄づくり
長幡公民館	管外研修「ひたち海浜公園ほか」 夏休み子ども教室「工作」「実験」 明るい地域づくり推進委員会 公民館・児童館まつり そばうち教室 もちつき大会 味噌作り教室 ギター演奏会
七本木公民館	カブト虫育て方教室 食育学習「さつま芋栽培」 管外研修「日光ほか」 子ども事業「シャボン玉ほか」 公民館・児童館・男女共同参画推進センターまつり 料理教室「きりたんぼ」 どんど焼きまつり 味噌作り教室 ヨモギ餅つき
上里東公民館	管外研修「忍野八海ほか」 フラメンコ鑑賞と歴史講座 ラッピング教室 明るい地域づくり推進委員会 夏休み子ども教室「ビーズキティ」 公民館・児童館まつり 教養講座「西崎キク生誕百年」 子どももちつき大会 音楽鑑賞「オカリナ・ギター」
神保原公民館	管外研修「築地場外市場ほか」 マグネット吹矢大会 ほたるの鑑賞の夕べ 理科教室「シャボン玉」 明るい地域づくり推進委員会 神保原音頭ほか練習会 公民館・児童館まつり そばうち教室 もちつき大会 しめ縄づくり

図 書 館

図書館では、『教育尊重の町』、『町民憲章』等の教育体制を基本理念に掲げ、資料の収集、整理、保存及び情報の提供並びに町民の求める図書及び視聴覚資料等を充実させると共に、これらの資料をより生かすための「レファレンスサービス(必要な情報・資料などの求めによる検索・提供・回答)」や、催しなどの事業や活動にも力を注ぐことにより、「暮らしに役立つ図書館」となるように努めている。

(1) 主要業務

- 資料の選定・購入(図書・雑誌等)
- 図書の貸出業務(貸出期間15日以内・1人10冊以内)
- 雑誌の貸出業務(貸出期間15日以内・1人3冊以内)
- 視聴覚資料の貸出業務(貸出期間8日以内・1人3点以内)
- 郷土資料の収集・保存
- レファレンス
- 各種事業の実施

(2) 主要事業

- 館報「ときめき」の発行(年4回)
- こどもとしゃかんだより「やんちゃ」の発行(月1回)
- 広報「かみさと」図書館・資料館だより(毎月掲載)
- 子どもシアター(月1回第2土曜日)
- くまさんのポケット(月2回第2・第4水曜日)
- わくわくおたのしみ会(4月15日(日)に実施)
- 夏休みこどもおたのしみ会
- クリスマスおたのしみ会
- ブックスタート(7・8ヶ月児対象、月1回保健センターで実施)
- 学校訪問(小学校へ出向き、読み聞かせや本の紹介等を実施)
- 団体貸出(小中学校の総合的な学習や朝読書等のためにクラス単位で貸出を実施)
- 読書会の育成(連絡協議会…平成9年12月発足)
 - 「ひふみの会」(月1回第1水曜日午前)
 - 「源氏物語を読む会」(月2回第1、第3金曜日午後)
 - 「俳句クラブ」(月1回第4土曜日午後)
 - 「古文書クラブ」(月1回第2土曜日午前)

●読書会合同研修（年1回）

●児玉郡市内及びその他の広域利用の実施（平成11年度から開始、平成18年度から深谷市参加、平成20年8月から隣接する高崎市、伊勢崎市、藤岡市、玉村町の住民にも利用者カードを交付開始）

●埼玉県ISBN総合目録事業への参加

※県内公立図書館等がISBNデータを本事業に提供して、相互貸借業務の効率化を計る事業。

●図書館のホームページの運用（平成13年7月3日より）

●国立国会図書館総合目録ネットワーク事業参加

[参考データ]

○蔵書数（平成24年3月末日現在）

- ・一般書 77,610冊
- ・児童書 36,705冊
- ・雑誌 3,729冊
- ・ビデオテープ 936点
- ・レーザーディスク 149点
- ・CD 1,352点 ・DVD 145点
- ・カセットテープ 77点

合計 120,703冊(点)

- ・新聞 8紙（一般紙…6紙、スポーツ紙…1紙、小学生新聞…1紙）

○貸出数等（平成23年度）

- ・図書 169,077冊
- ・視聴覚 10,216点
- ・雑誌 9,554冊

合計 188,847冊(点)

約679冊(点)／日

約5冊(点)／人・日

- ・利用者 38,956人(約140人／日)

- ・開館日数 278日

郷土資料館

郷土である上里町に関連した歴史・民俗資料などの収集・保管・調査および研究を行い、これらの資料の活用を図り、教育・学術および文化の発展に寄与することを目指す。

1) 常設展示

「母なる川 神流川 この大地に営まれた先人達の生活をたどる」を基本テーマとして、上里町の原始・古代から現代までの歴史資料や民俗資料を通史的にわかりやすく展示・解説を行っている。

原始・古代コーナー

町内の遺跡から発掘調査により出土した数多くの出土品の内、特に各時代の特徴を示す土器や石器などを展示・解説をしている。

中世コーナー

板石塔婆や五輪塔などの石造物や大御堂の吉祥院周辺で出土した古瀬戸の壺を利用した蔵骨器などの貴重な中世遺物などを展示・解説している。

近世コーナー

江戸時代に烏川・利根川を利用した水運を支えた八町河岸と藤ノ木河岸における物資運送の貴重な古文書などを展示・解説している。

近・現代コーナー

明治以降の高崎線敷設に関連した資料や、戦時中の児玉飛行場に関連した資料などを展示・解説している。

民俗資料コーナー

最近まで使われていたが、今では見ることがあまり無くなってしまった農具や生活道具などの展示・解説している。

2) 講座・見学会など

生涯学習や小・中学校による郷土学習や総合的学習との関連授業を推進するために郷土に関連した資料の提供や火起こしや出土品触れ合いなどの体験学習、施設見学会などの充実を図る。

(1) 町内の各小・中学校との連携授業を図る。

町内の各小・中学校で行われている総合的学習の内、郷土に関連した資料の貸し出しや出前授業、体験学習などの実施にあたって協力体制を図る。

(2) 見学会・ふるさと文化財めぐりなどの開催

各地区公民館との共催や支援により、町内各地に点在する郷土資料を徒歩や自転車により見学しながら、郷土の生い立ちや風土についての学習会などへの協力体制を図る。

3) その他

(1) 郷土資料館研究紀要の刊行

郷土資料館で実施している郷土資料の調査・研究の成果をより多くの方々にていきょうするため「郷土資料館研究紀要」第11号の刊行を行う。

(2) 博物館学芸員実習生の受け入れ

町内在住の大学生を優先して博物館館務実習生を夏休みの期間中に受け入れる。

文化財保護推進事業

上里町の大部分は、神流川扇状地の上に広がっており、恵まれた自然環境の中で、原始・古代から数多くの人々が生活を営み続けてきた。

人と自然が響きあう「ハーモニーガーデン上里」の合言葉の中で上里町は日々大きく姿を変えている。この変化の中で先人達が残してくれた貴重な文化遺産が姿を消しつつあることも事実である。さらに、近年では、生活環境や習慣の変化に伴い多くの民俗儀礼や民具が急激に姿を消している。また、各種の開発に伴い埋蔵文化財の取り扱いや保存には多くの課題を抱えている。原始・古代から現在の上里町を築き上げてきた多くの先人達が残した有形・無形の貴重な文化財を保護し、未来の社会のために保存・活用していくことは現代に生きる全市民の責務である。文化財を大切に「ふるさと」を知り豊かな民情をはぐくむうえからも文化財の保護と充実を図ることは重要な課題である。

1) 町指定文化財の保護と管理

町内には、史跡5ヶ所、天然記念物5点を含む有形文化財48件と三町諏訪神社獅子舞などの無形民俗文化財7件が町の貴重な文化財として指定されている。

- (1) 時代の変化の中で姿を消しつつある未指定の文化財の保護のため基礎資料の収集を図る。
- (2) 指定文化財の周知を進めるために、郷土学習などの時間を利用して活用を図る。

2) 埋蔵文化財の保護・活用

町内には、約150か所の埋蔵文化財包蔵地が周知されている。

- (1) 各種開発行為や砂利採取に伴い埋蔵文化財の所在確認のための試掘調査を実施する。
- (2) 平成23年度までに構築した上里町埋蔵文化財データベースを利用して、郷土学習の一環としての活用を図る。

3) 上里町出土文化財管理センターの活用と充実

出土文化財管理センターは埋蔵文化財の収蔵・管理施設である。町立図書館・資料館に隣接して設置されており一体の文化施設として各種事業を実施している。普段あまり見ることができない出土品の復元作業の見学や町内遺跡からの出土品などに直接ふれることの公開施設でもある。郷土の埋蔵文化財に対する保護・普及・啓発の拠点として活用していく。さらに、小・中学校を対象として郷土学習の場として遺跡からの出土品に加えて町内から収集した民具などを実際に使った体験学習などの充実を図る。

4) 町内に点在する歴史資料や文化財の活用を図る。

ふるさと文化財めぐりや各地区公民館と連携して郷土の文化財の周知を進めるとともに、郷土の文化財の活用を図る。

5) 古文書資料などの保存・活用を図る。

町編さん事業により収集した資料や行政資料のほかに、新たに収集した資料などを今後の郷土資料や郷土学習の資材として利用・活用できるように補修・整理・分類・保管などの業務を推進する。

上里町指定文化財一覧表

No.	指定	種類・種別	名称	所有者または保持者	時代	概要	指定年月日
1	県	有・絵	伝武田信玄陽雲院夫妻画像	陽雲寺	江戸	寛文9年(1669)、狩野元俊筆。絹本、着色、定本的な作例。	1968年3月29日
2	県	有・工	銅鐘	陽雲寺	江戸	元禄8年(1695)、佐野天明の鋳物師井上元峯作。縦帯中央に仏像を陽鋳。	1964年3月27日
3	県	有・古	陽雲寺所蔵文書7点	陽雲寺	戦国	戦国期、武田信玄直筆の起請文、書状、伴物など6点と古河公方足利政氏の伴物1点。	1968年3月29日
4	県	記・旧	金窪城跡(県旧跡)	上里町		治承年間築城と伝えられる。新田義貞の家臣畑時能などの居城。	1935年3月31日 (指定替) 1962年10月1日
5	県	記・旧	畑時能供養祠(県旧跡)	陽雲寺		供養塔。時能は秩父出身の武将。新田義貞軍に従ってしばしば軍功があった。延元4年(1339)戦死。	1935年3月31日 (指定替) 1963年8月27日
6	町	有・建	大光寺勅旨門	大光寺	鎌倉	天正10年(1582)の神流川合戦に焼け残ったと伝えられている。扁額「勅使山」	1974年2月22日
7	町	有・絵	十二天古画	上里町	室町	紙本、対幅、1幅に6体ずつの対幅十二天古画である。	1962年2月22日
8	町	有・絵	阿弥陀三尊古画	上里町	鎌倉	絹本着色、阿弥陀三尊来迎図。一部破損している。	1962年2月22日
9	町	有・絵	天神古画	西福寺	室町	絹本着色、天神端坐の図。	1962年2月22日
10	町	有・絵	十五仏古画	西福寺	室町	絹本着色、中央に虚空蔵菩薩が描かれている。	1962年2月22日
11	町	有・絵	不動明王古画	善台寺	室町	絹本着色、一部薄切、白矜羯羅・制托釈の二童子。	1962年2月22日
12	町	有・工	三条実美公寄贈野剣	陽雲寺	江戸	陽雲院が三条家より入嫁した縁故から寺に寄贈されたと伝えられている。銘周防国永弘。高橋泥舟の箱書き有り。	1962年2月22日
13	町	有・彫	古銅正観音立像	陽雲寺	鎌倉	新羅三郎義光鋳造、懐中守本尊、陽雲院の遺品と伝えられている。左手に蓮華、右手は施無畏印を示している。	1962年2月22日
14	町	有・彫	釈迦如来座像	陽雲寺	鎌倉	記録には鎮守府將軍源頼義御旗守本尊。武田家伝来、陽雲院の遺品と伝えられている。法界定印を結ぶ。	1962年2月22日
15	町	有・彫	正観世立像	大字黛	江戸	金箔玉眼嵌入の寄木造りの仏像。光背、蓮台とも立派である。寺伝では、恵心僧都作と伝えられている。	1962年2月22日
16	町	有・彫	木造阿弥陀如来座像	吉祥院	江戸	金箔玉眼嵌入の寄木造りの仏像。町内最大の木造仏	1962年2月22日
17	町	有・彫	金銅釈迦如来座像	休安寺	江戸	台座に「宝暦13年(1736)癸未九月十七日鑄江戸神田多川民部」の名がある。	1962年2月22日
18	町	有・彫	薬師座像	石蔵寺	江戸	慶長10年(1605)の墨書名がある。	1962年2月22日

No.	指定	種類・種別	名称	所有者または保持者	時代	概要	指定年月日
19	町	有・彫	勝軍地蔵	安盛寺	江戸	木造漆箔朱色玉眼嵌入。	1962年2月22日
20	町	有・古	徳川家康筆皆濟状	個人	江戸	慶長11年(1606)代官長谷川長次宛て。	1987年10月29日
21	町	有・古	薬師写経・高泉禅師筆	興国寺	江戸	紺地金泥薬師如来写経。黄檗宗の高泉禅師の筆。	1962年2月22日
22	町	有・考	親子地蔵	大光寺	鎌倉	表裏に地蔵尊像の陰刻の画像板石塔婆。勅使川原直重父子の墓と伝えられている。	1962年2月22日
23	町	有・考	埴輪頭部(町管理)	上里町	古墳	現在の神流川と烏川の合流点から出土したと伝えられている。	1962年2月22日
24	町	有・考	布目瓦	個人	奈良	奈良時代前半の五明廃寺出土瓦。軒丸瓦3種、軒平瓦3種。	1962年2月22日
25	町	有・考	石棒	石神社氏子総代	縄文	石神社のご神体として祭られている。	1962年2月22日
26	町	有・考	石棒	個人	縄文	家宮のご神体として祭られていたと伝えられている。	1962年2月22日
27	町	有・考	浅間山古墳	石神社氏子総代	古墳	角閃石安山岩による横穴式石室を持つ円墳。銅壺が出土。	1962年2月22日
28	町	有・考	板石塔婆	西福寺	鎌倉	薬研彫りの三尊板石塔婆	1962年2月22日
29	町	有・歴	見透灯籠	大光寺	江戸	文化12(1815)年造立。桑原北林、大窪詩仏などの名が刻まれている。本庄宿戸谷半兵衛が建立したもの。安政4年に境内に移築。	1962年2月22日
30	町	有・歴	文禄四年水帳	個人	江戸	文禄4年(1595)12月、武州賀美郡鉢形筋金久保之内黨村、当町最古の水帳。	1962年2月22日
31	町	有・歴	天海僧正御墨付	大字黛	江戸	寛永19年(1642)3月28日東叡山直末許状。	1962年2月22日
32	町	有・歴	石幢	大光寺	室町	六面地蔵石幢。竿に永正6年と年号が判読できる。	1962年2月22日
33	町	有・工	赤羽刀一括(町管理)	上里町			
34	町	記・天	楊枝魚			「トゲンバヨ」と呼ばれていた。	1962年2月22日
35	町	記・天	柿の木	石神社氏子総代		樹齢不明。地名柿の木のなった古木。	1974年2月22日
36	町	記・天	ヒイラギの大木	個人		樹齢約450年	1974年2月22日
37	町	記・天	マキの木	宝蔵寺		コウヤマキ。樹齢約800年。大東亜戦争中に隣接する児玉飛行場に発着する飛行機に支障があると先端部が切断された。	1962年2月22日
38	町	記・天	忍保の松	個人		樹齢不明。地元では「忍保の白松」と呼ばれている。	1962年2月22日
39	町	記・史	陽雲院の墓	陽雲寺		武田信玄内室陽雲院の墓と伝えられている。	1962年2月22日

No.	指定	種類・種別	名称	所有者または保持者	時代	概要	指定年月日
40	町	記・史	帯刀先生義賢の墓	福昌寺		源為義の次子源義賢の墓と伝えられている。	1962年2月22日
41	町	記・史	五輪塔	真福寺檀家総代		逆修僧都円宗、天文15年(1546)建之。	1962年2月22日
42	町	記・史	神流川古戦場			天正10年(1582)、滝川と北条の合戦跡	1962年2月22日
43	町	民、無民	忍保の神楽	金鑽神楽忍保組		今城青坂稲実池上神社に伝わる金鑽神楽。	1962年2月22日
44	町	民、無民	黛音頭	黛音頭保存会		酒樽、鼓、鐘、笛と音頭取り、踊り子による八木節系の音頭。	1962年2月22日
45	町	民、無民	諏訪神社獅子舞	三町諏訪神社獅子舞保存会		貞享2年銘の獅子頭が残されている。子供相撲が同時開催される。	1962年2月22日
46	町	民、無民	丹生神社獅子舞	丹生神社獅子舞保存会		活動休止	1962年2月22日
47	町	民、無民	金窪神社獅子舞	金窪神社獅子舞保存会		金久保八幡神社の獅子舞。	1962年2月22日
48	町	民、無民	七本木神社獅子舞	七本木神社獅子舞保存会		七本木神社の獅子舞。	1976年11月3日
49	町	民、無民	東音頭	東音頭保存会		長幡地区から起こった盆踊り。	1962年2月22日

種類・種別

有(有形文化財)、絵(絵画)、工(工芸品)、建(建築物)、彫(彫刻)、古(古文書)、考(考古資料)
 歴(歴史資料)、記(記念物)、天(天然記念物)、史(史跡)、民(民俗文化財)、無民(無形民俗文化財)

県選定重要遺跡

No.	指定	種類・種別	名称	所有者または保持者	時代	概要	指定年月日
1	県	重要遺跡	帯刀古墳群		古墳	神流川右岸に存在。円墳20基以上が現存。	1976年10月1日
2	県	重要遺跡	五明廃寺		奈良	神流川扇状地に造営された奈良時代前半の寺院跡。	1976年10月1日

生涯学習関連施設

【公民館】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	中央公民館		講堂、会議室 A・B・C、実習室、和室、陶芸棟
	七本木 925-5	☎33-8628	
2	賀美公民館		共同給食室、集会室 A・B、読書室、保健相談室、研修室(和室)
	金久保 693-1	☎34-1724	
3	長幡公民館		研修室、会議室(大・中・小)、料理講習室、相談室(和室)
	長浜 1008-1	☎34-1725	
4	七本木公民館		娯楽室、大会議室、和室、料理講習室、相談室、茶道室
	七本木 3227-2	☎34-1726	
5	上里東公民館		ロビー、会議室、ふるさと実習室、ふるさと学習室、和室
	七本木 1791-1	☎34-1041	
6	神保原公民館		ふれあいホール、小会議室、和室、ロビー
	神保原町 1393	☎34-1727	

【図書館】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	図書館		一般フロアー、児童フロアー、視聴覚室、会議室(自習室)、参考資料室(レファレンス)、AVブース
	七本木 67	☎34-0455	

【郷土資料館】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	郷土資料館		常設展示室、企画展示室
	七本木 67	☎34-0455	

【出土文化財管理センター】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	出土文化財管理センター		作業室、保管室、見学施設
	七本木 67	☎33-2682	

【体育施設】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	町民体育館		バレーボールコート3面、会議室、更衣室
	七本木 3202-2	☎33-7655	
2	多目的スポーツホール		アリーナ(625㎡)、ステージ、会議室
	七本木 3202-2	☎33-7655	
3	忍保パブリック公園		野球コート4面、ソフトボールコート2面、グランドゴルフ場(16ホール)、アスレチック
	忍保地内 烏川右岸	—	
4	宮多目的広場サッカー場		サッカーコート1面、グランド1面
	長浜地内 神流川右岸	—	
5	長久保公園テニス場		テニスコート4面(オムニ・ナイター可)
	大御堂 1450-2	—	
6	児玉工業団地遊水地グランド		グランド1面
	嘉美 1600-34	—	
7	堤調節池運動公園グランド		グランド1面
	堤 751-1 先	—	

【学校開放施設】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	町内小・中学校校庭及び体育館		上里中学校のみナイター施設あり * 上里北中は校庭開放なし

【同和対策集会所】

番号	名 称		敷地面積	建築面積	建築年月日
	所在地・電話番号				
1	立野集会所		500.56 ㎡	160.38 ㎡	昭和 46 年 3 月 31 日・昭和 52 年増築 平成 8 年 2 月 29 日移転新築
	賀美 282-3	☎33-7938			
2	堀込集会所		242.86 ㎡	142.49 ㎡	昭和 48 年 3 月 31 日・平成 13 年度改築
	七本木 47	☎33-7916			
3	本郷集会所		217.00 ㎡	134.15 ㎡	昭和 49 年 3 月 20 日・平成元年増築
	七本木 3073-1	☎33-7922			
4	五丁目集会所		541.00 ㎡	168.43 ㎡	昭和 50 年 3 月 28 日 平成 10 年 7 月 31 日移転新築
	神保原町 141-2	☎33-9280			
5	三町集会所		231.00 ㎡	134.15 ㎡	昭和 51 年 3 月 25 日・昭和 61 年新築
	三町 830	☎33-8615			
6	堤集会所		3,528.00 ㎡	164.59 ㎡	昭和 51 年 3 月 25 日・平成 14 年改築
	堤 1204	☎33-7917			

特別職等の名簿

◎教育委員

平成24年4月1日現在

役職名	氏名	備考
委員長	川田 博享	
委員長職務代理者	中村 孝布	
委員	齊藤 玲子	
委員	安藤 寛和	
教育長	山下 武彦	

◎社会教育委員

平成24年4月1日～26年3月31日

No.	選出区分	氏名	備考
1	学校長	丸山 修	
2	文化協会	岩田 忠明	
3	体育協会	丸山 和也	
4	SALA神保原	矢澤 征子	
5	老人クラブ連合会	奥川 勇	
6	PTA連合会	福島 栄輝	
7	子ども会育成会	松崎 麻里	
8	人権を大切にする会	畑中 幸枝	
9	健康・体力づくり 推進協議会	花房 一十郎	
10	スポーツ少年団	高橋 仁	◎
11	レクリエーション協会	齋木 はな	
12	女性会議	前村 香宮	○
13	公民館活動推進員	萩原 顯	
14	学識経験者（議会）	植原 育雄	
15	”（区長会）	敷地 友好	

◎委員長 ○副委員長

◎文化財保護審議委員

平成24年4月1日現在

No.	氏名	備考
1	小野英彦	
2	金子一男	
3	谷口明廣	

◎スポーツ推進委員

任期：平成23年4月1日～25年3月31日

No.	役職	氏名	地区・地域	備考
1	委員長	横村久夫	上里東小	
2	副委員長	須賀順子	賀美小	
3	副委員長	安藤利一	長幡小	
4		青木よし子	長幡小	
5	研修部長	新井英男	賀美小	
6		松本宏一	長幡小	
7		新井康永	長幡小	
8		蔵内紀子	神保原小	
9	広報部長	岩田徹	七本木小	
10		高野勇	神保原小	
11		齋藤真理子	賀美小	
12		中原真紀	上里東小	
13		齊藤千恵子	上里東小	
14		相川進也	長幡小	
15		小田島寛之	七本木小	

◎公民館長

平成24年4月1日現在

役職名	氏名	備考
中央公民館長	山口正彦	
賀美公民館長	阿部甚一	
長幡公民館長	清水幸雄	
七本木公民館長	根岸公之	
上里東公民館長	五味一義	
神保原公民館長	金子一男	代表館長

◎社会教育指導員

平成24年4月1日現在

役職名	氏名	備考
社会教育指導員	戸口吉雄	

◎集会所指導員

平成24年4月1日現在

役職名	氏名	集会所勤務日
集会所指導員	清塚護	立野・月曜日 本郷・火曜日 堤・金曜日 時間 9時～17時
	岩田忠明	三町・火曜日 五丁目・水曜日 堀込・金曜日 時間 9時～17時

◎ 公民館活動推進員

平成24年4月1日現在

区分	No.	地 区	氏 名	備考
賀美公民館	1	黛	竹内 由明	
	2	内出・西金	岩田 常治	
	3	金下	福田 博太郎	
	4	金下東	坂山 和丸	
	5	金上	廣田 篤志	
	6	勝場	金井 文雄	
	7	原	山下 正志	
	8	天神・真下	清水 邦俊	
	9	堀込	安田 満	
長幡公民館	10	帯刀	橋本 進	
	11	五明	横堀 隆宣	
	12	五明	橋本 充由	
	13	長浜	清水 忠之	
	14	長浜	立石 満	
	15	東大御堂	伊藤 保之	
	16	西大御堂	堀込 正義	
	17	並木・沖	田島 哲朗	
七本木公民館	18	堤	戸矢 文夫	
	19	堤	植井 英雄	
	20	三町	中川 武彦	
	21	三町	渡邊 靖壽	
	22	本郷	齋藤 道齊	
	23	本郷	鶴貝 一夫	
	24	嘉美	内田 光昭	
	25	嘉美	渡辺 正規	
上里東公民館	26	京塚	榎 由憲	
	27	京塚	吉田 賢一	
	28	古新田	杉山 悦子	
	29	古新田	茂木 一美	
	30	三軒	小笠原 努	
	31	三軒	鈴木 好治	
	32	三田	柳澤 宏明	
	33	三田	和田 勇二	
	34	三田	原 博之	
	35	久保新田	上原 洋光	
	36	四ツ谷	新井 邦洋	
	37	西原町東	永井 満知子	
	38	西原町西	川浦 浩幸	
神保原公民館	39	一丁目	根岸 隆志	
	40	一丁目	吉田 豊秋	
	41	二丁目	高野 力雄	
	42	三丁目	田中 康彦	
	43	四丁目	深沢 隆	
	44	五丁目	鈴木 重雄	
	45	五丁目	岩田 弘一	
	46	宮本町	岩田 直樹	
	47	宮本町	田村 智	
	48	東町	平井 耕三	
	49	忍保	桂川 福美	
	50	八町河原	萩原 顯	

上里町々歌

作詞／大鹿英子 補作詞／矢野亮 作曲・編曲／飯田三郎

明るく荘重に
mp



みどりの かぜも さわやーかーに ーか が やくひ

か ーり そそぐま ち *mf* ふるさとの そら う つくしく



ほのかににおう なしのはな あ あ ーかみさと かみさとに



うまれたる ーこのよろこびーよ ーいつまでもー



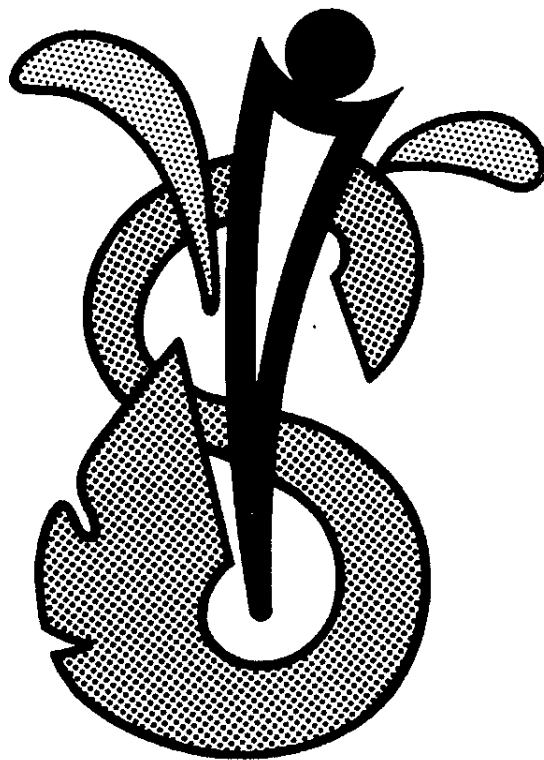
みどりの風も さわやかに
かやく光 注ぐ町
ふるさとの空 うつくしく
ほのかに匂う 梨の花
あ、上里 上里に 生まれたる
このよろこびよ いつまでも

はるかに望む 秩父嶺や
神流のながれ 抱く町
ふるさとの土 あた、かく
ゆだかに稔る 幸の数
あ、上里 上里を 背負いゆく
この生甲斐よ いつまでも

歴史の上に 新しき
ちからを集め 伸る町
ふるさとの人 手をつなぎ
明日にかける 夢の橋
あ、上里 上里よ 栄えあれ
このしあわせよ いつまでも

広げよう！ 心のゆとり 学びの輪

上里町生涯学習推進標語



上里町生涯学習推進シンボルマーク

生涯学習のSからのイメージ

青は“青空”

Sの字の下の部分は“翼”

中心の赤は“意欲的な人々”

緑は“可能性を示す若葉”

